

I 章 臨床検査総論

検査総合管理学

大項目	中項目	小項目	備考	
1 臨床検査の意義	A 診断方法の変遷			
	B 臨床検査の意義	a スクリーニング検査		
		b 精密検査		
		c コンパニオン検査	分子標的治療	
		d 緊急検査		
		e 診察前検査		
		f 検査計画		
		g 予後の検査		
2 検査管理の概念	A 検査管理の定義	a 医療機関と検査部門		
		b 臨床検査室の評価	ISO15189	
	B 検査部門の役割			
	C 検査の倫理	a 患者と検体の確認		
		b 検査の倫理規定		
	3 検査部門の組織と業務	A 検査体制	a 検査体制の変遷	
b POCT				
c OTC検査				
d 在宅検査				
e 衛生検査所				
B 検査部門の組織と業務		a 病院の組織		
		b 検査部の組織		
		c 診療支援部		
		d チーム医療	感染対策チーム 〈ICT〉、栄養サ ポートチーム 〈NST〉	
C 検査部門の業務		a 検体検査		
		b 生理学的機能検査		
		c 日常検査		
		d 迅速検査		
		e 治験業務		
		f 臨床検査情報室		
4 検査部門の管理と運営		A 業務管理	a マニュアル、標準作業手順書〈SOP〉	
			b 検査成績の管理	
			c 人事管理	
	B 検査機器管理			
	C 物品管理	a 試薬		
		b 検査器材		
	D 情報管理	a 個人情報保護		
	E 財務管理	a 医療経済		
		b 収支バランス		
	F 医療安全	a 医療事故と医療過誤		
		b インシデント		
		c 医療事故発生時の対処		
		d 医療事故防止対策		

I 章 臨床検査総論

検査総合管理学

大項目	中項目	小項目	備考	
	G 感染対策		標準予防策、経路別予防策	
	H 安全衛生管理	a 電気		
		b 医療用ガス		
		c 薬品		
		d 感染性医療廃棄物		
		e 放射性同位元素<RI>		
		f 労働衛生管理		
		g 災害対策		
5 検体の採取と保存	A 採血法	a 採血器具		
		b 採血条件		
		c 抗凝固剤、解糖阻止剤		
		d 標準採血法		
		e 静脈血		
		f 毛細血管血		
		g 採血時の安全管理	血管迷走神経反射針刺し・切創	
	B 検体採取法・取り扱い法	a 全血、血漿、血清		
		b 尿		
		c 糞便		
		d 喀痰		
		e 精液		
		f 組織・細胞		
		g 胃液		
		h 十二指腸液		
		i 脳脊髄液		
		j 穿刺液、分泌液、その他		
	C 検体の搬送と保存	a 搬送法		
		b 保存法		
6 検査の受付と報告	A 検査受付	a 検査予約		
		b 検体照合		
		c 検体搬送		
		d オーダリングシステム		
	B 検体の前処理	a 検体の種別		
		b 検体処理		
	C 検査結果の報告	a 報告の種類と方法		
		b 検査成績への付加情報・コメント		
		c 結果の評価		
		d 検査成績の保存		
	7 検査の精度保証(精度管理)	A 概略	a クオリティマネジメント	
			b 精度管理に必要な統計学	
		B 誤差	a 真度と精密さ	
b 不確かさ				
c 誤差の分類				
d 誤差の許容限界				

I 章 臨床検査総論

検査総合管理学

大項目	中項目	小項目	備考
		e 管理限界	
	C 単位	a 化学分析の単位	
		b 酵素活性の単位	
		c SI単位	
	D 精度管理法	a 精度管理法の分類	
		b 精度管理試料	
		c 内部精度管理	
		d 外部精度管理<外部精度評価>	
		e 検査過誤の管理	
	E 標準化	a 基準測定操作法	
		b 標準物質	
		c トレーサビリティ	
	F 検査法の信頼性評価	a 技術的評価	バイアス、共存物質の影響
		b 検査結果の評価	

生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 尿検査	A 尿の生成と組成		
	B 一般的性状	a 尿量	
		b 臭気	
		c 色調	
		d 混濁尿	
		e 尿pH	
		f 尿比重	
		g 尿浸透圧	
	C 化学的検査法	a 尿蛋白	Bence Jones蛋白、微量アルブミン
		b 尿糖	
		c 尿ケトン体	
		d 尿ビリルビン	
		e 尿ウロビリニン体	
		f 尿ポルフィリン体	
		g 尿潜血	血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿
		h フェニルケトン体尿	
		i アルカプトン尿	
		j 5-ヒドロキシインドール酢酸<5-HIAA>	
		k バニリルマンデル酸<VMA>	
		l メラニン尿	
		m 尿インジカン	
		n 脂肪尿	
		o 尿亜硝酸塩	
	p 白血球反応		
	q アスコルビン酸		
	r ヒト絨毛性ゴナドトロピン<hCG>、妊娠反応		
	s 薬物・毒物・代謝産物		
	D 尿沈渣検査	a 標本作製法	
		b 染色法	Sternheimer染色、SudanⅢ染色、Prescott-Brodie染色
		c 鏡検法	
		d 尿中有形成分	
	E 自動分析装置	a 尿自動分析装置	
b 尿中有形成成分分析装置			
F 腎機能検査	a クリアランス		
	b 推算糸球体濾過量<eGFR>		

生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
2 脳脊髄液検査	A 髄液の生成と組成		
	B 一般的性状	a 混濁	
		b 色調	
		c 圧測定	
	C 化学的検査法	a 蛋白質	
		b グルコース	
		c クロール	
		d 酵素	LD、CK、アデノシンデアミナーゼ<ADA>
	D 細胞学的検査法	a 細胞数	
		b 細胞の種類	
3 糞便検査	A 生成と組成		
	B 一般的性状	a 形状	
		b 色調	
		c 臭気	
	C 糞便検査法	a 便潜血反応	
		b 脂肪球	
4 喀痰検査	A 一般的性状		
	B 検査法		
5 その他の一般検査	A 精液検査		
	B 穿刺液検査		
	C その他の体液検査	a 気管支肺胞洗浄液<BALF>	
		b 持続的外来腹膜透析<CAPD>排液	
		c 羊水	
		d 汗、鼻汁、粘液	
		e 関節液	
		f 膣分泌液	
D 結石検査			

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 寄生虫学	A 寄生虫の分布と疫学	a 人獣(畜)共通感染症	
	B 寄生虫の形態と生活	a 一般的形態	
		b 生活史と感染経路	
		c 幼虫移行症	
	C 病害と症状		
	D 線虫類	a 回虫	
		b 蟯虫	
		c 糞線虫	
		d 鉤虫	
		e 東洋毛様線虫	
		f 鞭虫	
		g 旋毛虫	
		h 糸状虫	
		i アニサキス	
		j 顎口虫	
		k 広東住血線虫	
		l 旋尾線虫	
		E 吸虫類	a 横川吸虫
	b 肝吸虫		
	c 肝蛭		
	d Westerman肺吸虫		
	e 宮崎肺吸虫		
	f 住血吸虫		
	F 条虫類	a 日本海裂頭条虫	
		b 大複殖門条虫	
		c Manson裂頭条虫	
		d 無鉤条虫	
		e 有鉤条虫	
		f 小形条虫	
		g 縮小条虫	
		h 多包条虫	
		i 単包条虫	
	G 原虫類	a 赤痢アメーバ	
		b Lamb1鞭毛虫	
		c クリプトスポリジウム	
		d 戦争イソスポーラ	
		e サイクロスポーラ	
		f 腔トリコモナス	
		g マラリア原虫	
		h トキソプラズマ	
		i トリパノソーマ	
j リーシュマニア			
H 衛生動物		a ツツガムシ	
	b ヒゼンダニ		

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		c 蚊類	
		d ハエ類	
		e ノミ類	
		f シラミ類	
2 寄生虫検査法	A 検査材料の採取と注意事項		
	B 糞便	a 培養法	
		b 虫卵	
		c 原虫	
		d 幼虫・成虫体	
	C 血液	a マラリア原虫	
		b その他の原虫	
		c 糸状虫	
	D その他	a 免疫学的検査法	
		b 遺伝子検査法	

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 遺伝子の基礎	A 遺伝子の構造と機能	a 核酸の種類	
		b 核酸代謝	
		c 遺伝子の構造と機能	
		d クロマチンの構造	
	B DNAの複製	a 複製	
		b DNAの損傷と修復	
	C 遺伝情報の伝達と発現	a ゲノムDNA	
		b ミトコンドリアDNA	
		c 転写	
		d 翻訳	
		e 遺伝子発現の調節	
		f 蛋白質合成	
		g 変異と多型	
	D 遺伝子の異常	a 遺伝の法則	
		b 遺伝子変異と変異原	
		c 表現型と遺伝型	
d 遺伝子異常と疾患			
e 遺伝子診断			
f 遺伝子治療			
g 移植・再生医療			
h ファーマコゲノミクス<PGx>			
2 遺伝子検査法	A 遺伝子関連検査の種類	a 病原体遺伝子検査<核酸検査>	
		b 体細胞遺伝子検査<遺伝子検査>	
		c 生殖細胞系列遺伝子検査<遺伝学的検査>	
	B 検体の取扱い	a 検体採取と保存	
		b 検体試料の前処理	
	C 核酸抽出	a DNA抽出	
		b RNA抽出	
	D 核酸増幅法	a PCR法	
		b RT-PCR法	
		c その他の核酸増幅法	
	E 解析法	a サザンブロット法	
		b ノザンブロット法	
		c fluorescence in situ hybridization<FISH法>	
		d DNAマイクロアレイ法	
		e シークエンス解析	
		f マイクロサテライト解析	
		g その他の解析法	
	F 倫理	a インフォームドコンセント	
		b 遺伝倫理	
		c 遺伝情報管理	
	G 検査機器	a 核酸増幅装置	
		b ブロッキング装置	

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		c シーケンサ	
		d トランスイルミネータ	
		e 電気泳動装置	
		f その他の検査機器	
3 染色体の基礎	A 染色体の構造と機能	a 細胞周期	
		b 染色体の構造	
		c 性染色体	
	B 分類と命名法	a 体細胞	
		b 生殖細胞	
		c 核型	
C ヒトの染色体地図	a 遺伝子マッピング		
	b 核型進化		
4 染色体検査法	A 細胞培養法	a 培養準備	
		b 末梢リンパ球培養	
		c 骨髄細胞培養	
		d 羊水細胞培養	
		e 皮膚線維芽細胞培養	
		f リンパ球細胞株の樹立	
		g 固形腫瘍細胞培養	
		h 絨毛細胞培養	
		i 高精度分染用培養	
	B 標本作製法	a 低張処理	
		b 固定	
		c 展開	
		d 保存	
	C 分染法	a Qバンド	
		b Gバンド	
		c Rバンド	
		d Cバンド	
		e NOR法	
		f 姉妹染色体分染法	
		g 高精度染色体分染法	
	D 核型分析	a 顕微鏡観察	
		b 核型分析	
		c 染色体異常の記載法	
		d 自動解析装置	
	E fluorescence <i>in situ</i> hybridization<FISH法>	a DNAプローブの種類	
		b 染色体ペインティング法	SKY<spectral karyotyping>法
	F 検査機器	a クリーンベンチ	
		b 炭酸ガス培養器	
		c その他の検査機器	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考	
1 医学概論	A 病気の原因	a 内因		
		b 外因		
	B 病気の症状			
	C 患者心理			
	D 疾病の経過と転帰			
	E 救急医療	a 一次救命処置		
	b 二次救命処置			
2 循環器疾患	A 心不全	a 左心不全		
		b 右心不全<肺性心を含む>		
	B 不整脈	a 期外収縮		
		b 上室頻拍<WPW症候群を含む>		
		c 心房粗動・細動		
		d 心室頻拍・細動		
		e 興奮伝導障害		
		f 洞不全症候群		
	C 先天性心疾患	a 心室中隔欠損症		
		b 心房中隔欠損症		
		c Fallot四徴症		
		d 動脈管開存症		
	D 後天性心疾患	a 心臓弁膜症		
		b 感染性心内膜炎		
	E 虚血性心疾患	a 狭心症		
		b 急性冠症候群		
		c 心筋梗塞		
	F 心膜疾患	a 心膜炎		
		b 心タンポナーデ		
	G 心筋疾患	a 心筋症<肥大型、拡張型>		
		b 心筋炎		
	H 血圧異常	a 本態性高血圧症		
		b 二次性高血圧症		
		c 低血圧症		
	I 脈管疾患	a 動脈疾患<動脈硬化症、大動脈瘤>		
		b 静脈疾患		
		c リンパ管疾患		
		d 血管炎症候群<川崎病を含む>		
	J ショック			
	3 呼吸器疾患	A 感染性肺疾患	a 細菌性肺炎	
			b 肺結核症	
			c 非結核性抗酸菌症	
			d ウイルス性肺炎	
e 肺真菌症				
f マイコプラズマ肺炎				
g クラミジア肺炎				

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
	B 免疫学的機序が関与する肺疾患	a 気管支喘息	
		b PIE症候群/好酸球性肺炎	
		c 過敏性肺炎	
	C 閉塞性肺疾患	a 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	
		b 細気管支炎	
	D 拘束性肺疾患	a 間質性肺炎<肺線維症を含む>	
	E 肺循環障害	a 肺塞栓症	
		b 肺高血圧症	
	F 胸膜疾患	a 胸膜炎	
		b 気胸	
	G 悪性腫瘍	a 原発性肺癌	
		b 転移性肺腫瘍	
		c 悪性中皮腫	
	H その他	a 過換気症候群	
b サルコイドーシス			
c 睡眠時無呼吸症候群<SAS>			
4 消化器疾患	A 炎症性疾患	a 食道炎	
		b 胃炎	
		c 感染性腸炎	
		d 潰瘍性大腸炎	
		e Crohn病	
		f 腸結核	
	B 消化性潰瘍	a 胃潰瘍	
		b 十二指腸潰瘍	
		c Zollinger-Ellison症候群	
	C 腸閉塞<イレウス>		
	D 過敏性腸症候群		
	E 悪性腫瘍	a 食道癌	
		b 胃癌	
		c 大腸癌	
5 肝・胆・膵疾患	A 肝疾患	a 急性ウイルス性肝炎	
		b 劇症肝炎	
		c 慢性肝炎	
		d 自己免疫性肝炎	
		e アルコール性肝障害	
		f NAFLD<非アルコール性脂肪性肝疾患>、NASH<非アルコール性脂肪性肝炎>	
		g 肝硬変	
		h 肝癌	
	B 胆道疾患	a 胆管炎・胆嚢炎	
		b 胆石症	
		c 胆管癌・胆嚢癌	
	C 膵疾患	a 膵炎	
		b 膵癌	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		c インスリノーマ	
		d ガストリノーマ	
6 感染症	A 細菌感染症	a 腸チフス、パラチフス	
		b 赤痢	
		c 腸管出血性大腸菌感染症	
		d ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		e コレラ	
		f 結核症	
		g レジオネラ症	
		h 淋疾	
		i ブドウ球菌感染症	
		j レンサ球菌感染症	
		k 嫌気性菌感染症	
		l 敗血症<血流感染症>	
		m 細菌性食中毒	
		B ウイルス感染症	a 麻疹
	b 風疹		
	c 手足口病		
	d 流行性耳下腺炎<ムンプス>		
	e 流行性角結膜炎		
	f EBウイルス感染症		
	g インフルエンザ		
	h 後天性免疫不全症候群<AIDS>		
	i ウイルス肝炎		
	j ヘルペス感染症		
	k サイトメガロウイルス<CMV>感染症		
	l 伝染性紅斑		
	C リケッチア感染症		a ツツガ虫病
	D クラミジア感染症	a クラミジア肺炎	
		b 性器クラミジア感染症	
		c トラコーマ	
	E スピロヘータ感染症	a 梅毒	
		b Weil病	
	F 真菌感染症	a 放線菌症	
		b カンジダ症	
		c クリプトコックス症	
		d アスペルギルス症	
		e ニューモシスチス肺炎	
	G 原虫感染症	a アメーバ赤痢	
		b マラリア	
		c トキソプラズマ症	
		d クリプトスポリジウム症	
	H 輸入感染症	a マラリア	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考	
		b デング熱		
		c ウイルス性出血熱		
7 血液・造血器疾患	A 貧血	a 鉄欠乏性貧血		
		b 巨赤芽球性貧血		
		c 再生不良性貧血		
		d 溶血性貧血		
		e 腎性貧血		
	B 白血病	a 急性骨髄性白血病<AML>		
		b 急性リンパ性白血病<ALL>		
		c 慢性骨髄性白血病<CML>		
		d 慢性リンパ性白血病<CLL>		
		e 成人T細胞白血病<ATL>		
	C 骨髄異形成症候群<MDS>			
	D 骨髄増殖性腫瘍	a 慢性骨髄性白血病<CML>		
		b 真性赤血球増加症<PV>		
		c 本態性血小板血症<ET>		
		d 骨髄線維症		
	E 悪性リンパ腫	a 非Hodgkinリンパ腫<NHL>		
		b Hodgkinリンパ腫<HL>		
	F 骨髄腫および類縁疾患	a 多発性骨髄腫		
		b 原発性マクログロブリン血症		
	G 血小板減少症	a 特発性血小板減少性紫斑病<ITP>		
		b 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>		
	H 先天性出血性疾患	a 血友病A		
		b 血友病B		
		c von Willebrand病<VWD>		
	I 後天性出血性疾患	a 播種性血管内凝固<DIC>		
		b ビタミンK欠乏症		
		c アレルギー性紫斑病		
	J その他	a 血球貪食症候群<HPS>		
	8 内分泌疾患	A 下垂体疾患	a 先端巨大症・巨人症	
			b ADH不適合分泌症候群<SIADH>	
			c 高プロラクチン血症	
			d 下垂体機能低下症	
e 尿崩症				
f 小人症				
B 甲状腺疾患		a 甲状腺機能亢進症<Basedow病>		
		b 甲状腺機能低下症		
		c 慢性甲状腺炎<橋本病>		
		d 甲状腺癌		
C 副甲状腺疾患		a 副甲状腺機能亢進症		
		b 副甲状腺機能低下症		
D 副腎疾患		a 褐色細胞腫		

Ⅱ章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
		b 神経芽腫	
		c 副腎皮質機能亢進症<Cushing症候群>	
		d 副腎皮質機能低下症<Addison病>	
		e 原発性アルドステロン症	
		f 副腎性器症候群	
9 腎・尿路・男性生殖器疾患	A 糸球体腎炎	a 急性糸球体腎炎	
		b 慢性糸球体腎炎	
		c IgA腎症	
		d 糖尿病性腎症	
	B ネフローゼ症候群		
	C 腎不全	a 急性腎不全	
		b 慢性腎不全	
		c 長期透析の合併症	
	D 腎・尿路結石		
	E 尿路感染症	a 腎盂炎	
		b 膀胱炎	
		c 尿道炎	
	F 前立腺肥大(症)		
	G 腫瘍	a 腎腫瘍	
b 膀胱腫瘍			
c 前立腺癌			
d 精巣腫瘍			
10 女性生殖器疾患	A 子宮疾患	a 子宮内膜炎	
		b 子宮筋腫	
		c 子宮内膜症	
		d 子宮腫瘍	
	B 卵巣疾患	a 卵巣腫瘍	
11 神経・運動器疾患	A 脳血管障害	a 脳出血	
		b 脳梗塞	
		c 一過性脳虚血発作<TIA>	
		d くも膜下出血	
	B 感染症	a 髄膜炎	
		b 脳炎	
		c Creutzfeldt-Jakob病	
	C てんかん		
	D 腫瘍	a 脳腫瘍	
	E 変性・脱髄疾患	a 多発性硬化症	
		b Alzheimer病	
		c Parkinson病	
		d Guillain-Barré症候群	
	F 筋疾患	a 進行性筋ジストロフィ	
		b 筋緊張性ジストロフィ	
		c 筋無力症<重症筋無力症、Lambert-Eaton症候群を含む>	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
	G 骨疾患	a 骨粗鬆症	
12 アレルギー性疾患・ 膠原病・免疫不全	A アレルギー性疾患	a 蕁麻疹	
		b 気管支喘息	
		c 花粉症	
		d アトピー性皮膚炎	
	B 膠原病および類縁疾患	a 全身性エリテマトーデス<SLE>	
		b 抗リン脂質抗体症候群	
		c 混合性結合組織病<MCTD>	
		d 関節リウマチ<RA>	
		e 多発性筋炎	
		f 結節性多発性動脈炎	
		g その他の血管炎症候群	
		h リウマチ熱	
		i Behçet病	
		j Sjögren症候群	
k 強皮症			
C 免疫不全	a 無γ-グロブリン血症		
	b 重症複合免疫不全症		
	c 慢性肉芽腫症		
	d 原発性補体欠損症		
13 代謝・栄養障害	A 先天性代謝異常	a ポルフィリン症	
		b フェニルケトン尿症	
		c Gaucher病	
		d Niemann-Pick病	
		e Wilson病	
	B 糖代謝異常	a 糖尿病	
		b 糖原病	
	C 脂質代謝異常	a 脂質異常症	
	D 蛋白代謝異常	a アミロイドーシス	
	E 尿酸代謝異常	a 痛風	
	F ビタミン代謝異常	a ビタミン欠乏症	
	G 鉄代謝異常	a ヘモクロマトーシス	
	H 生活習慣病・肥満症	a メタボリックシンドローム	
14 感覚器疾患	A 眼疾患		
	B 耳鼻疾患		
15 中毒	A 自然毒	a 動物毒<へび、ハチ、フグ>	
		b 植物毒<トリカブト、キノコ>	
	B 有害物中毒	a 重金属中毒<水銀、鉛、カドミウム>	
		b ガス中毒	
		c 農薬中毒	
16 染色体・遺伝子異常症	A 常染色体異常	a Down症候群	
	B 性染色体異常	a Turner症候群	
		b Klinefelter症候群	
C 遺伝子異常			

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
17 皮膚疾患	A 皮膚疾患		
18 乳腺疾患	A 乳腺疾患		
19 検査診断学総論	A 基準範囲	a 定義と概念	
		b 目的	
		c 求め方	
		d 検査成績の読み方	
		e 個人・集団基準範囲	
		f 生理的変動	
	B 臨床検査性能評価	a 感度と特異度	
		b 陽性適<的>中率	
		c 有病率	
		d 尤度比	
		e ROC曲線	
		f カットオフ値	
	C 検査の使い方		
	D 病態識別値と診療ガイドライン	a 根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイドライン	糖尿病診療ガイドライン、CKD診療ガイドライン、動脈硬化性疾患予防ガイドライン
20 検査情報の活用	A 基礎医学		
	B 予防医学	a 健康診断	
		b 検診	
	C 臨床医学	a 患者診療	
		b 検査依頼書	
		c 報告書	
		d 異常値	
		e 付加価値情報	
		f パニック値	
		g コンサルテーション	
h 検査のためのインフォームドコンセント			
21 循環器疾患の検査	A 生理機能検査	a 血圧	
		b 心電図	
		c 心臓超音波	
	B 化学検査	a 脂質<コレステロール、トリグリセライド、リポ蛋白>	
		b 酵素<LD、CK、LD・CKアイソザイム>	
		c その他[トロポニン、ミオグロビン、脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>]	
22 呼吸器疾患の検査	A 生理機能検査	a 換気機能検査	
		b 拡散機能検査	
		c 動脈血液ガス分析	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 喀痰検査			
	C 血液・化学検査	a 血球数算定<血算>		
		b 赤血球沈降速度<赤沈、血沈>		
		c 酵素		
		d α_1 -アンチトリプシン		
		e 肺線維化マーカー	KL-6	
	D 免疫学的検査	a 免疫グロブリン		
		b その他<CRP、ASO、リウマトイド因子、抗核抗体>		
	23 消化管疾患の検査	A 糞便検査	a 潜血反応	
			b 寄生虫検査	
B 胃液検査				
C 血液・化学検査				
	D 消化吸収試験			
24 肝・胆・膵疾患の検査	A 肝機能検査	a ビリルビン		
		b 酵素<AST、ALT、LD、ALP、 γ -GT、コリンエステラーゼ>		
		c 脂質		
		d 総蛋白、蛋白分画、アルブミン		
		e 凝固検査		
		f アンモニア		
		g 胆汁酸		
		h 血清鉄・血清銅		
		i ICG		
		j 自己抗体<抗核抗体、抗DNA抗体、抗ミトコンドリア抗体>		
		k 肝炎ウイルス関連検査<HBs抗原・抗体、HBe抗原・抗体、HBc抗体、HCV抗体>		
		B 尿検査	a ウロビリノゲン	
			b ビリルビン	
	C 肝生検			
	D 十二指腸液検査			
	E 膵外分泌機能検査			
	F 膵逸脱酵素検査	a アミラーゼ		
		b リパーゼ		
	G 超音波検査			
	25 感染症の検査	A 微生物学的検査	a 塗抹検査	
b 培養検査				
c 薬剤感受性検査				
B 微生物遺伝子検査		a 核酸増幅検査		
C スクリーニング検査		a 血球数算定<血算>		
		b 赤血球沈降速度<赤沈、血沈>		
		c CRP		
D 免疫学的検査				

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
26 血液・造血器疾患の検査	A 赤血球検査	a 赤血球数、ヘモグロビン<Hb>、ヘマトクリット値<Ht>	
		b 赤血球指数<MCV、MCH、MCHC>	
		c 溶血に関する検査<赤血球浸透圧抵抗性試験、Ham試験>	
	B 白血球検査	a 白血球数	
		b 白血球分画	
	C 血小板検査	a 血小板数	
		b 血小板機能検査	
	D 骨髄検査		
	E 出血性素因検査	a プロトロンビン時間<PT>	
		b 活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>	
		c フィブリノゲン	
		d FDP	
		e D-ダイマー	
		f トロンビン-アンチトロンビン複合体<TAT>	
	27 内分泌疾患の検査	A 下垂体機能検査	
B 甲状腺機能検査			
C 副甲状腺機能検査			
D 副腎皮質機能検査			
E 副腎髄質機能検査			
F 膵島機能検査			
G 性腺機能検査			
28 腎・尿路疾患の検査	A 尿検査	a 尿蛋白	
		b 尿糖	
		c 尿潜血	
		d 尿比重	
		e 尿沈渣	
	B 腎生検		
	C 血清化学検査	a 蛋白分画	
		b 尿素窒素<UN>	
		c クレアチニン	
		d 電解質[ナトリウム<Na>、カリウム<K>、カルシウム<Ca>、リン<P>]	
		e コレステロール	
	D 尿化学検査	a β_2 -ミクログロブリン	
		b α_1 -ミクログロブリン	
		c 微量アルブミン	
E 腎機能検査	a クレアチニン・クリアランス<CCr>		
29 体液・電解質・酸-塩基平衡の検査	A 電解質検査	a ナトリウム	
		b カリウム	
		c クロール	
		d 浸透圧	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
	B 酸塩基平衡	a 血液pH	
		b CO ₂ 分圧<PaCO ₂ >	
		c O ₂ 分圧<PaO ₂ >	
		d HCO ₃ ⁻	
		e アニオンギャップ	
30 神経・運動器疾患の検査	A 生理機能検査	a 筋電図	
		b 誘発筋電図	
		c 脳波	
		d 終夜睡眠ポリグラフィ<PSG>	
		e MRI	
	B 髄液検査	a 蛋白質	
		b グルコース	
		c クロール	
		d 細胞	
		e 髄液圧	
	C 化学検査	a 酵素<CK、LD>	
		b 蛋白質	
		c クレアチン	
		d ミオグロビン	
		e 骨形成マーカー	
		f 骨吸収マーカー	
	31 アレルギー性疾患・膠原病・免疫病の検査	A 皮膚反応	
		B 免疫学的検査	
C 免疫機能検査			
D 自己免疫疾患の検査			
32 代謝・栄養異常の検査	A 糖代謝	a 血糖	
		b ヘモグロビンA1c<HbA1c>	
		c 糖化アルブミン<GA>	
		d インスリン	
	B 脂質代謝	a 総コレステロール	
		b トリグリセライド	
		c LDL-コレステロール	
		d HDL-コレステロール	
	C 蛋白代謝		
	D 尿酸代謝	a 尿酸	
	E ポルフィリン		
	F 重金属代謝	a 血清鉄、トランスフェリン	
		b 血清銅、セロプラスミン	
	G 水・電解質代謝		
	33 感覚器疾患の検査	A 眼疾患	a 眼底検査
B 耳鼻疾患		a 聴力検査	
		b 平衡機能検査	
34 有毒物中毒の検査	A 水銀		
	B 亜鉛		

Ⅱ章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
	C 鉛		
	D カドミウム		
	E 砒素		
	F 有機リン剤<農薬>		
35 染色体・遺伝子異常症の検査	A 染色体検査	a 血液	
		b 羊水	
	B 遺伝子検査		
	C 化学検査		
	D 尿検査	a マスクリーニング検査	
36 悪性腫瘍の検査	A 腫瘍マーカー		
	B 細胞診		
	C 組織診	a 生検診断	
		b 術中・術後診断	
D 遺伝子検査			

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 臨床生理検査の特色	A 臨床検査の業務範囲	a 生理検査と資格制限	
		B 生体検査の特異性	a 患者心理と対応
		b 事前の検査説明	
		c 緊急性	
		d ベッドサイド検査	
		e 安全対策・感染対策	
2 循環系検査の基礎	A 循環生理	a 体循環	
		b 肺循環	
		c 脳循環	
		d 血圧	
		e 血液の性状と血行動態	
		f リンパ管系	
	B 心臓	a 心臓の機能	
		b 心内圧と心時相	心拍出量
		c 神経支配と循環反射	
		d 冠状動脈の構造と機能	
3 心電図検査	A 基礎・正常心電図	a 臨床的意義	
		b 心電図発現の機構	
		c 心電図波形の成り立ち	
		d 心電図の計測	
		e 誘導法	
		f 心電計	
		g アーチファクト	
	B 異常心電図	a 洞頻脈・洞徐脈	
		b 上室期外収縮	
		c 上室頻拍	
		d 心房細動	
		e 心房粗動	
		f 心室期外収縮	
		g 心室頻拍	
		h 心室細動	
		i 洞不全症候群	洞停止、洞房ブロック
		j 房室ブロック	
		k 心臓ペースメーカー心電図	
		l 脚ブロック	
		m 早期興奮症候群<WPW症候群>	
		n 心房肥大・心室肥大	
		o 狭心症	ST低下、ST上昇
		p ブルガダ症候群<Brugada症候群>	
		q 心筋梗塞・急性冠症候群	異常Q波、ST上昇、冠性T波
		r 電解質異常	
		C 運動負荷心電図検査	a 適応と禁忌

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		b 運動負荷の中止徴候<エンドポイント>	
		c Masterの2階段試験	
		d トレッドミル負荷試験	
		e エルゴメータ負荷試験	
		f 評価法	
		D Holter心電図検査	a 臨床的意義
		b 誘導法	
		c Holter心電計	
	E その他の心電図	a 加算平均心電図	心室遅延電位<LP>
		b 心内心電図	His束心電図
4 心音図検査	A 心音図検査とその異常	a 臨床的意義	
		b 心音の成因と性質	
		c 心音計	
		d 異常心音図	心臓弁膜症、先天性心疾患
5 脈管疾患検査	A 動脈硬化検査	a 足関節上腕血圧比<ABI>	
		b 脈波伝播速度<PWV>	
		c 指尖容積脈波	
	B 血管内皮機能検査	a 血流依存性血管拡張反応<FMD>	
6 呼吸器系検査の基礎	A 呼吸生理	a 呼吸器の機能	
		b 呼吸運動とその調節	
		c ガス交換と運搬	
		d 酸素解離曲線	
		e 換気機能	
		f 気体に関する一般的法則	
7 呼吸機能検査	A 換気機能検査	a 臨床的意義	
		b 肺気量分画	
		c スパイロメトリ[肺活量<VC>、努力肺活量<FVC>、一秒量<FEV _{1.0} >を含む]	
		d フローボリューム曲線	
		e ピークフローメータ[ピークフロー値<PEF>を含む]	
		f クロージングボリューム	
		g 機能的残気量	
		h コンプライアンス	
		i 呼吸抵抗	
		j 気道過敏性検査	
	B 肺胞機能検査	a 臨床的意義	
		b 肺内ガス分布	
		c 肺拡散能力[肺拡散能<DLco>を含む]	

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		d 呼気ガス分析<エネルギー代謝を含む>	
		e 評価法	
	C 呼吸系運動負荷検査	a 最大酸素摂取量と心拍数・血圧	
	D 動脈血ガス分析	a 臨床的意義	
		b 検体の取り扱い	
		c 測定上の留意点	
		d 血液ガス分析装置	
		e 検査法[O ₂ 飽和度<SaO ₂ >、O ₂ 分圧<PaO ₂ >、CO ₂ 分圧<PaCO ₂ >、pH、HCO ₃ ⁻ 、base excess<BE>、肺泡気-動脈血酸素分圧較差を含む]	
	f パルスオキシメータ[経皮的動脈酸素飽和度<SpO ₂ >を含む]		
	E 睡眠呼吸検査	a 終夜睡眠ポリグラフィ<PSG>	脳波、眼球運動、頤筋筋電図
	F 呼吸機能検査異常	a 気管支喘息	
		b 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	
		c 間質性肺炎<肺線維症を含む>	
		d 慢性呼吸不全	
		e 睡眠時無呼吸症候群<SAS>	閉塞型と中枢型の区別
	8 神経系検査の基礎	A 神経	a ニューロン
b 膜電位			
c 興奮機序			
d 興奮伝導と伝達			
B 末梢神経		a 体性神経	
		b 自律神経	
		c 自律神経の検査	
C 中枢神経		a 大脳の働きと機能の局在	
		b 意識	
		c 睡眠の生理と調節	
		d 記憶	
		e 小脳の働き	
		f 脳幹の働き	
		g 脊髄の働き	
		h 反射の機序	
9 脳波検査		A 基礎	a 臨床的意義
	b 脳波発現の機序		
	c 基礎的要素<δ波、θ波、α波、β波、棘波、鋭波を含む>		
	d 電極の配置部位		
	e 導出法		
	f 脳波計		
	g 生理的変化と賦活法		

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		h アーチファクト	
	B 異常脳波	a てんかん	三相波、周期性同期性放電、広汎性多棘徐波複合
		b Creutzfeldt-Jakob病	
		c 亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	
		d 肝性脳症	
		e 脳死判定	
	C 誘発電位	a 臨床的意義	
		b 聴覚<ABR>、視覚<VEP>、体性感覚誘発電位<SEP>、事象関連電位<ERP>	脳死判定、術中モニタリング
		c 検査法	
	D その他の検査	a 脳磁図検査<MEG>	
		b 光トポグラフィ検査[近赤外線分光法<NIRS>]	
10 筋電図検査	A 基礎	a 臨床的意義	
		b 基礎的要素	運動神経系、感覚神経系、運動単位電位<MUP>
		c 筋電計	
		d 電極	
	B 異常筋電図	a 進行性筋ジストロフィ	線維束攣縮<fasciculation>、急降下爆撃音、神経原性電位、筋原性電位、多相性電位、ミオトニー放電
		b 筋萎縮性側索硬化症	
		c 多発性筋炎	
	C 誘発筋電図	a 臨床的意義	
		b 神経伝導速度	運動神経伝導速度<MCV>、F波、感覚神経伝導速度<SCV>、H反射
		c 検査法	
	D 異常誘発筋電図	a 神経炎	
		b 筋萎縮性側索硬化症	
		c 筋無力症<重症筋無力症、Lambert-Eaton症候群を含む>	
	E 経頭蓋磁気刺激検査	a 臨床的意義	
		b 運動誘発電位<MEP>	
		c 検査法	

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考		
11 超音波検査の基礎	A 原理と測定法	a 超音波の性質			
		b 超音波プローブ			
		c Bモード法とMモード法			
		d パルスドプラ法			
		e 連続波ドプラ法			
		f カラードプラ法<パワードプラを含む>			
		g アーチファクト	多重反射<コメントエコー>、鏡面現象<ミラーイメージ>、音響陰影<アコースティックシャドウ>、側方陰影、後方エコーの増減、サイドローブ		
		h 検査の実際			
12 心臓超音波	A 基礎	a 臨床的意義			
		b 心臓の正常超音波像			
		c 内径、壁厚と心機能<収縮能、拡張能>の評価	左室駆出率、左室内径短縮率、E/A		
		d 血流と圧較差の評価			
	B 異常超音波像	a 虚血性心疾患			
		b 弁膜症			
		c 先天性心疾患			
		d 心筋症			
		e 心膜疾患			
		f 心内血栓			
		g 心臓腫瘍			
		13 血管超音波	A 基礎	a 頸動脈	内膜肥厚、プラーク
				b 下肢静脈	
14 腹部超音波	A 基礎	a 臨床的意義			
		b 前処置			
		c 基本走査			
		d 肝胆道系、脾臓の正常超音波像			
		e 門脈系の正常超音波像			
		f 膵臓の正常超音波像			
		g 腎臓・尿路の正常超音波像			
	B 異常超音波像	a 肝硬変			
		b 脂肪肝			
		c 肝癌			
		d 膵炎			

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		e 胆・炎、胆石、胆・ポリープ	
		f 腎・胞	
		g 腸管疾患	虫垂炎、大腸腫瘍など
15 骨盤腔超音波	A 女性骨盤腔	a 婦人科疾患	
		b 妊娠・胎児	
	B 男性骨盤腔	a 前立腺疾患	
16 体表超音波検査	A 甲状腺		
	B 乳腺		
	C その他		リンパ節、唾液腺など
17 磁気共鳴画像検査 〈MRI〉	A 原理	a 臨床的意義	
		b 陽子とスピンの緩和時間	
		c 緩和時間	
		d 歳差運動とラーモア周波数	
	B 基本的画像	a T1強調画像	
		b T2強調画像	
		c プロトン密度強調画像	
	C 検査法	a 臨床的意義	
		b 検査の注意点〈安全確認を含む〉	
18 その他の臨床生理検査	A 熱画像検査〈サーモグラフィ〉	a 臨床的意義	
	B 眼底検査	a 臨床的意義	
		b 検査法	
	C 平衡機能検査	a 眼振検査〈重心動揺検査を含む〉	
	D 感覚系の検査	a 聴覚検査	
		b 聴性脳幹反応検査〈ABR〉	新生児聴覚スクリーニング

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 生命のメカニズム	A 生命現象の生体構成成分	a 生体元素	
		b 生体物質	
		c 物質の代謝	
		d 恒常性	
		e 生体のリズム	
	B 細胞の構造と働き	a 細胞の基本構造	
		b 細胞内小器官の機能	
		c 細胞分画	
	C 生体エネルギー	a 高エネルギー化合物の役割と種類	
		b 代謝とATP産生	
2 生物化学分析の原理と方法	A 吸光光度計	a 電磁波の波長と色の関係	
		b 可視光線と紫外線	
		c 可視光線、紫外線の光源	
		d 余色と補色	
		e Lambert-Beerの法則	
		f モル吸光係数	
		g 分光光度計の原理と構成	
		h 原子吸光計の原理と構成	
	B 蛍光分析法	a 蛍光分析の原理	
		b 励起波長と蛍光波長	
		c 蛍光物質	
		d 蛍光測定	
	C 発光分析法	a 発光の原理と実際	
	D クロマトグラフィ	a イオン交換クロマトグラフィ	
		b ゲル濾過クロマトグラフィ	
		c アフィニティクロマトグラフィ	
		d 吸着・分配クロマトグラフィ	
		e 液体クロマトグラフィ	HPLC
		f ガスクロマトグラフィ	
	E 電気泳動法	a 電気泳動の原理	
		b 支持体	
		c 移動度とその影響因子	
	F 質量分析法	a 質量分析法の原理	
		b MALDI-TOF MS	
	G 免疫学的分析法	a 抗原抗体反応	
		b 免疫比濁法と比ろう法	
		c ラテックス凝集反応	
		d 放射免疫測定法<RIA>	
		e 酵素免疫測定法<EIA>	
		f ホモジニアス法とヘテロジニアス法	
		g 競合法と非競合法	
	H 電気化学分析法	a イオン選択電極	
		b 酵素電極	

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		c pHメータ	
		d ガス分析	
	I 酵素的分析法	a 酵素と基質	
		b 酵素反応速度	
		c K_m 、 V_{max}	
		d Lineweaver-Burkプロット	
		e Michaelis-Mentenの式	
		f 零次反応および一次反応	
		g 測定条件	
		h 発色系	
		i 初速度分析	
		j 終点分析	
		J 自動分析法	a ディスクリート方式
	b シングルマルチ型		
	c スーパーマルチ型		
	d ドライケミストリ		
	K ポイント・オブ・ケア・テストイング <POCT>	a 小型簡易測定器	
		b 原理と意義	
		c イムノクロマトグラフィ	
	3 無機質	A 水と無機質の調整および代謝	a 生体内分布と生理的意義
b 調節機構			
c アニオンギャップ			
B 無機質の検査		a ナトリウム	
		b カリウム	
		c クロール	
		d カルシウム	
		e マグネシウム	
		f リン	
		g 血清鉄	
		h 血清銅	
		i 亜鉛	
		j 浸透圧	
		k HCO_3^-	
4 糖質	A 糖質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B 糖質の代謝	a 消化	
		b 吸収	
		c 血糖の調節機能	
		d 解糖系と糖新生	
		e クエン酸回路<TCA回路、クレブス回路>	
		f グリコーゲンの代謝	
		g ペントースリン酸回路	
	C 糖質の検査	a 血糖	

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		b 尿糖	
		c 75g経口ブドウ糖負荷試験	
		d ヘモグロビンA1c<HbA1c>	
		e グリコアルブミン	
		f 1, 5-アンヒドログルシトール <1, 5-AG>	
		g ピルビン酸・乳酸	
5 脂質	A 脂質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B 脂質の代謝	a 消化	
		b 吸収	
		c 脂肪酸の代謝	
		d ケトン体の代謝	
		e トリグリセライドの代謝	
		f リポ蛋白の代謝	
		g コレステロールの代謝	
		h その他の脂質の代謝<リン脂質・糖脂質・プロスタグランディン、過酸化脂質など>	
	C 脂質の検査	a トリグリセライド	
		b 総コレステロール	
		c HDL-コレステロール	
		d LDL-コレステロール	
		e リン脂質	
		f 遊離脂肪酸	
		g ケトン体	
		h リポ蛋白	
		i アポリポ蛋白	
		j 胆汁酸	
k Lp(a)			
l レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ<LCAT>			
6 蛋白質	A アミノ酸と蛋白質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B アミノ酸と蛋白質の代謝	a 蛋白質の消化	
		b アミノ酸の吸収	
		c アミノ酸の代謝	
		d 蛋白質の合成と分解、窒素平衡	
		e 尿素回路、アンモニアの処理	
	C 蛋白質の検査	a 血清総蛋白	
		b 血清蛋白分画	
		c 急性期蛋白	
		d Rapid Turnover Protein<RTP>	
		e 免疫グロブリン	
		f 血清アルブミン	

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		g CRP	
		h セルロプラスミン	
		i ハプトグロビン	
		j トランスフェリン	
		k フェリチン	
7 非蛋白性窒素	A 生体内の非蛋白性窒素成分の生成	a 構造と種類	
		b 生理的意義	
	B 非蛋白性窒素成分の代謝		
	C 非蛋白性窒素成分の検査	a 尿素窒素	
		b クレアチニン、クレアチン	eGFR
		c 尿酸	
		d アンモニア	
8 生体色素	A ヘム	a ポルフィリン体	
		b ヘムの合成	
		c 胆汁色素の代謝	
	B 生体色素の検査	a 総ビリルビン	
		b 直接・間接ビリルビン	
		c δ ビリルビン	
		d シヤントビリルビン	
9 酵素	A 酵素の基礎	a 役割	
		b 命名と分類	
		c 化学的性質と組成	
		d 生体内分布と血中酵素の起源	
		e アイソザイム	
	B 酵素活性の測定	a 酵素反応速度論	
		b 酵素活性単位	
	C 酵素の検査	a AST	
		b ALT	
		c LD	
		d CK	
		e ALP	
		f γ -GT	
		g コリンエステラーゼ	
		h アミラーゼ	
		i リパーゼ	
		j 酸ホスファターゼ	
10 薬物・毒物	A 検査目的		
	B 生体内の薬物動態		
	C 血中薬物測定法	a 薬物モニタリング<TDM>	
	D 毒物・劇物の分析		
11 骨代謝	A 骨形成マーカー		骨型アルカリホスファターゼ<BAP>

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 骨吸収マーカー		デオキシピリジノリン<DPD>	
12 ホルモン	A ホルモンの種類と性質			
	B ホルモンの作用と調節機序			
	C ホルモン検査と臨床的意義	a 視床下部ホルモン		
		b 下垂体前葉ホルモン		
		c 下垂体後葉ホルモン		
		d 甲状腺ホルモン		
		e 副甲状腺ホルモン		
		f 副腎皮質ホルモン		
		g 副腎髄質ホルモン		
		h 性ホルモン		
		i 膵臓ホルモン		
		j 消化管ホルモン		
k アディポサイトカイン				
13 ビタミン	A ビタミンの種類と性質			
	B ビタミンの作用と分類	a 脂溶性ビタミン		
		b 水溶性ビタミン		
C ビタミンの欠乏症				
14 疾患マーカー	A 肺疾患	a KL-6		
		b アンギオテンシン変換酵素<ACE>		
	B 感染症	a (1→3)β-D-グルカン		
		b プロカルシトニン		
		c エンドトキシン		
	C 心疾患	a 脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>		
		b トロポニン		
	D 腎疾患	a シスタチンC		
	E その他	a アデノシンデアミナーゼ<ADA>		
		b アルドラーゼ		
		c 脂肪酸結合蛋白<FABP>		
15 その他の検査	A 放射性物質を用いた検査	a 放射能・放射線の性質		
		b 放射能・放射線の測定		
		c 放射性物質を用いた検査		
		d 取り扱いと安全管理		
	B 肝<胆道>機能検査	a 異物排泄機能検査		
		b 解毒機能検査		
	C 腎機能検査	a 腎血流量検査		
		b 糸球体機能検査		
		c 尿細管機能検査		
	D 膵機能検査	a 膵外分泌機能検査		
		b 膵内分泌機能検査		

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
	E 内分泌機能検査	a 下垂体機能検査	
		b 甲状腺機能検査	
		c 副甲状腺機能検査	
		d 副腎皮質機能検査	
		e 副腎髄質機能検査	
		f 性腺機能検査	
	F 消化管機能検査		

V章 病理組織細胞学

人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
1 解剖学総論	A 発生の概要	a 生殖細胞の分裂	
		b 受精	
		c 胚葉の形成と分化	
		d 胎盤	
	B 細胞と組織	a 細胞内小器官の構造と機能	
		b 上皮組織	
		c 結合・支持組織	
		d 筋組織	
		e 神経組織	
	C 立体解剖		
	D 断面解剖		
	E 人体骨格の概要		
	F 筋の概要		
G 体腔と縦隔			
2 病理学総論	A 病因	a 内因	
		b 外因	
	B 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	a 奇形	
		b 染色体異常	
		c 遺伝性疾患	
	C 組織細胞障害とその修復機能	a 変性	
		b アポトーシス	
		c ネクローシス	
		d 萎縮	
		e 肥大と過形成	
		f 化生	
		g 再生	
		h 創傷の治療と肉芽組織	
	D 物質代謝異常	a 糖質代謝異常	
		b 脂質代謝異常	
		c 蛋白質・アミノ酸代謝異常	
		d 核酸・ヌクレオチド代謝異常	
		e 生体色素代謝異常	
		f 無機物代謝異常	
	E 循環障害	a 虚血	
		b 充血	
		c うっ血	
		d 出血	
		e 血栓	
		f 塞栓	
		g 梗塞	
		h 浮腫	
i 傍側<側副>循環			
j ショック			
F 炎症	a 定義		

V章 病理組織細胞学

人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
		b 原因	
		c 形態的变化と経過	
		d 転帰	
		e 炎症細胞	
		f 炎症の分類	
		G 免疫異常	a 免疫反応とアレルギー
		b 免疫不全	
		c 移植と拒絶反応	
		d 自己免疫疾患	
	H 腫瘍	a 定義	
		b 形態	
		c 腫瘍の分類	
		d 腫瘍の広がり方	
		e 腫瘍の発生原因と機序	
		f 癌関連遺伝子	
	3 解剖学・病理学各論	A 循環器系	a 循環器の一般構造と機能
b 体循環と肺循環			
c 心臓			虚血性心疾患、 心筋症
d 動脈			動脈硬化症
e 静脈			
f リンパ管			
g 心・			
h 胎児の血液循環			
B 呼吸器系		a 呼吸器の一般構造と機能	
		b 上気道	
		c 気管・気管支	
		d 肺	肺癌
		e 胸膜	悪性中皮腫
C 消化器系		a 消化器の一般構造と機能	
		b 口腔、歯、唾液腺	
		c 咽頭・食道	静脈瘤、食道癌
		d 胃・十二指腸	胃癌、胃・十二 指腸潰瘍、GIST
		e 小腸・大腸・虫垂	大腸癌
		f 肝臓	脂肪肝、肝炎、 肝硬変、肝癌
		g 胆嚢、胆道系	胆石、胆道癌
		h 膵臓	膵癌
		i 腹膜	
		D 血液・造血器系	a 骨髄
b 脾臓			
c 胸腺			
d リンパ節			
E 内分泌系		a 視床下部	

V章 病理組織細胞学

人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
		b 下垂体	
		c 松果体	
		d 甲状腺	
		e 上皮小体<副甲状腺>	
		f 副腎	
		g 膵ランゲルハンス島	糖尿病
		F 腎・尿路系	a 腎・尿路系の一般構造と機能
		b 腎臓	糸球体腎炎、腎腫瘍
		c 尿管・膀胱・尿道	膀胱腫瘍
	G 生殖器系	a 生殖器の一般構造と機能	
		b 男性生殖器	前立腺癌
		c 女性生殖器	子宮癌、卵巣腫瘍
	H 神経・運動器系	a 神経系の一般構造と機能	
		b 中枢神経系	頭蓋内出血
		c 末梢神経系	
		d 骨格筋	
		e 骨	
		f 関節	
		g 軟部組織	
	I 感覚器系	a 視覚器	
		b 聴覚器	
		c 平衡器	
	J 皮膚及び付属器	a 皮膚および付属器の一般構造と機能	
	b 皮膚		
K 乳腺	a 乳腺の一般構造と機能		
	b 乳腺	乳癌	

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 病理組織標本作製法	A 検体の種類	a 剖検材料	
		b 手術材料	
		c 生検材料	
	B 肉眼的組織観察法	a 摘出臓器<組織>検体の観察法	
	C 切り出し	a 目的	
		b 切り出しの実際	
	D 固定法	a 目的と原理	
		b 固定の実際	
		c 固定液の種類と組成	
	E 脱灰法	a 目的と原理	
		b 脱灰処理の実際	
		c 脱灰液の種類と組成	
	F 包埋法	a 目的	
		b 各種包埋法	
		c パラフィン包埋の実際	
		d 自動包埋装置	
	G 薄切法	a 目的と原理	
		b ミクロトームの種類	
		c 薄切の実際	
		d 切片伸展法	
	H 凍結切片標本作製法	a 目的と原理	
		b 凍結組織切片薄切の実際	
		c クリオスタット	
		d 術中迅速組織標本作製法	
2 病理組織染色法	A 染色法概論	a 目的と原理	
		b 染色前の操作	
		c 封入	
		d 自動染色装置	
	B hematoxylin-eosin 染色<H-E染色>	a 目的と原理	
		b hematoxylin液の種類と組成	
	C 膠原線維の染色法	a azan染色	
		b Masson trichrome染色	
	D 弾性線維の染色法	a Victoria blue染色	Victoria blue-HE染色
		b elastica van Gieson染色	
	E 細網線維の染色法	a 鍍銀法	
		b PAM染色	
	F 多糖類の染色法	a PAS反応	
		b Alcian blue染色	
		c mucicarmine染色	
		d toluidine blue染色<異染色性>	
		e 酵素消化法	
	G 脂質の染色法	a SudanⅢ染色	
		b Sudan black B染色	

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		c oil red O染色	
	H 核酸の染色法	a Feulgen反応	
		b methyl green-pyronin染色	
	I アミロイドの染色法	a Congo red染色	
	J 線維素の染色法	a PTAH染色	
	K 組織内無機物質の染色	a Berlin blue染色	
		b Kossa反応	
	L 生体内色素の染色法	a Masson-Fontana染色	
		b DOPA反応	
	M 内分泌細胞の染色法	a Grimelius染色	
		b Masson-Fontana染色	
	N 組織内病原体の染色法	a Gram染色	
		b Giemsa染色	
		c Ziehl-Neelsen染色	
		d Warthin-Starry染色	
		e Grocott染色	
		f PAS反応	
		g orcein染色	
		h Victoria blue染色	
		i mucicarmine染色	
	O 神経組織の染色法	a Nissl染色	
		b Klüver-Barrera染色	
		c Bodian染色	
	P 組織化学染色	a 酵素組織化学染色法	
		b 免疫組織化学染色法<酵素抗体法、蛍光抗体法>	
		c <i>in situ</i> hybridization法<ISH法>	
		d fluorescence <i>in situ</i> hybridization法<FISH法>	
		e 抗体の種類と意義	cytokeratin、vimentin、desmin、S100蛋白、NSE、CD20、CD3、c-kit、AFP、CEA、CA125、Ki67、p53、ER、PgR、HER2、EGFR、ALKなど
		f 染色の実際	
	Q 顕微鏡の操作法	a 光学顕微鏡<明視野>	
		b 偏光顕微鏡	
		c 蛍光顕微鏡	
3 電子顕微鏡標本作製法	A 固定法	a 目的	
		b 固定法の実際	
	B 包埋法	a 樹脂包埋	

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 超薄切切片作製法	a 薄切法		
		b ウルトラマイクロトーム		
		c ガラスナイフ、ダイヤモンドナイフ		
	D 染色法	a 電子染色		
	E 観察法	a 透過型電子顕微鏡		
		b 走査型電子顕微鏡		
4 細胞学的検査法	A 概要	a 目的		
		b 細胞学的検査法の特徴		
	B 検体採取法	a 擦過法		
		b 吸引法		
		c 穿刺法		
		d カテーテル法		
	C 検体処理法	a 塗抹法		
		b 遠心沈殿法		
		c ポアフィルター法		
		d 捺印法		
		e セルブロック法		
		f 液状化検体<LBC>法		
	D 固定法	a 湿固定		
		b 乾燥固定		
		c コーティング固定		
	E 染色法	a Papanicolaou染色		
		b Giemsa染色		
		c 粘液染色		
		d 免疫細胞化学染色		
		e 自動染色装置		
	F スクリーニングの実際	a 正常細胞の基本形態		
		b 異型細胞の特徴		
		c 悪性腫瘍細胞の特徴		
		d 細胞判定区分	Bethesdaシステム癌取扱い規約に準じた報告様式	
	5 病理解剖<剖検>	A 概要	a 目的	
		B 介助	a 病理解剖<剖検>の手順	
		C 剖検室管理	a 試料の保存と管理	
b バイオハザード				
6 病理業務の管理		A 検体の取り扱い	a 医療事故防止対策	
	B 試薬の管理	a 毒物・劇物の取り扱い<毒物及び劇物取締法を含む>		
		b ホルマリンの取り扱い<労働安全衛生法、特定化学物質障害予防規則を含む>		

形態検査学

大項目	中項目	小項目	備考
	C 標本・報告書の保守 管理		

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考
1 血液の基礎	A 血液の成分	a 有形成分	
		b 無形成分	
	B 血液の性状	a 血液量	
		b 比重	
		c 粘度	
	C 血液の機能	a 物質の運搬	
		b 調節能	
		c 生体防御	
		d 止血	
	D 血球の産生と崩壊	a 胎生期造血	
		b 血球の分化・成熟	
		c 造血因子	
		d 造血器官<骨髄、リンパ組織、脾、髄外造血>	
		e 血球回転	
2 血球	A 赤血球	a 産生と崩壊	
		b 形態と機能	
		c 生化学	
	B 白血球	a 産生と崩壊	
		b 形態と機能	
	C 血小板	a 産生と崩壊	
b 形態と機能			
3 止血機構	A 止血栓の形成	a 止血栓形成の開始機構	
		b 一次止血<血小板血栓>	
		c 二次止血<フィブリン血栓>	
	B 血管の機能	a 血管収縮・拡張	
		b 毛細血管透過性	
		c 抗血栓性の発現	
	C 血小板の機能	a 粘着・放出・凝集	
		b 凝固促進	
		c 血餅収縮	
	D 血栓形成機序に重要な因子	a 血管・血管内皮下組織	
		b 血小板因子	
		c von Willebrand因子<VWF>	
		d 凝固因子	
		e ビタミンK依存性凝固因子	
f 凝固制御因子			
g 線溶因子			
4 凝固・線溶系	A 凝固	a 凝固機序	
		b 凝固因子の産生・構造・機能	
		c 凝固の制御機構	
	B 線溶	a 線溶機序	
		b 線溶因子の産生・構造・機能	
		c 線溶の制御機構	

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考
	C 分子マーカー	a 可溶性フィブリンモノマー複合体<SFMC>	
		b トロンビン - アンチトロンビン複合体<TAT>	
		c プロトロンビンフラグメント F1+2<PF1+2>	
		d プラスミン - プラスミンインヒビター複合体<PIC>	
5 血球に関する検査	A 自動血球計数器法	a 計測原理と方法	
		b 赤血球数<RBC>	
		c ヘモグロビン濃度<Hb>	
		d ヘマトクリット値<Ht>	
		e 網赤血球数<Ret>	
		f 赤血球指数<MCV, MCH, MCHC>	
		g 白血球数<WBC>	
		h 血小板数<Plt>	
		i 血球粒度分布	
		j 誤差要因	
	B 用手法	a 血球数算定	白血球数<WBC>、赤血球数<RBC>
		b ミクロヘマトクリット<Ht>	
		c ヘモグロビン濃度<Hb>	
	C 網赤血球数	a Brecher法	
		b フローサイトメトリ法	
	D 血小板数	a Brecher - Cronkite法	
		b 免疫学的血小板数算定	
	E 赤血球沈降速度	a Westergren法	
	F 溶血の検査	a 赤血球浸透圧抵抗試験	
		b Ham試験	
c 砂糖水試験			
6 形態に関する検査	A 塗抹標本の作製法		
	B 普通染色		
	C 特殊染色	a 鉄染色	
		b PAS染色	
		c ペルオキシダーゼ染色	
		d アルカリホスファターゼ染色	
		e エステラーゼ染色	
	D 血液細胞の観察	a 鏡検法による血球観察	
		b 末梢血血液像	
		c 骨髓像	
		d その他<髄液・リンパ節を含む>	
		e 白血球自動分類	
	E 血液細胞抗原検査	a CD抗原	
		b 免疫化学染色法	
		c フローサイトメトリ法	

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考	
7 血小板、凝固・線溶系検査	A 血管・血小板機能検査	a 出血時間		
		b 毛細血管抵抗試験		
		c 血小板粘着能		
		d 血小板凝集能		
		e 血餅収縮能		
	B 凝固・線溶の検査	a プロトロンビン時間<PT>		
		b 活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>		
		c フィブリノゲン		
		d VWF<抗原量、活性>		
		e 凝固因子活性		
		f トロンボテスト		
		g プラスミノゲン		
		h フィブリノゲン/フィブリン分解産物<FDP>		
		i D-ダイマー		
	C 凝固・線溶阻止物質の検査	a アンチトロンビン<AT>		
		b プロテインC<PC>		
		c プロテインS<PS>		
		d プラスミンインヒビター<PI>		
		e プラスミノゲンアクチベーターインヒビター<PAI>		
		f クロスマキシング試験		
		g 凝固因子のインヒビター		
		h ループスアンチコアグラント		
		i 抗リン脂質抗体		
	8 赤血球系疾患の検査結果の評価	A 貧血	a 定義と分類法	
		B 小球性貧血	a 鉄欠乏性貧血	
			b 慢性炎症性疾患	
			c 鉄芽球性貧血	
d サラセミア				
C 正球性貧血		a 再生不良性貧血		
		b 赤芽球癆		
		c 二次性貧血		
D 大球性貧血		a ビタミンB ₁₂ 欠乏<悪性貧血、胃切除後を含む>		
		b 葉酸欠乏		
E 溶血性貧血		a 遺伝性球状赤血球症<HS>		
		b 自己免疫性溶血性貧血<AIHA>		
		c 異常ヘモグロビン症		
		d 酵素異常症		
		e 発作性夜間ヘモグロビン尿症<PNH>		
		f 寒冷凝集素症		
	g 細血管障害性溶血性貧血			

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考
	F 赤血球増加症	a 真性赤血球増加症<PV>	
		b 二次性赤血球増加症・相対的赤血球増加	
	G 赤血球形態異常	a 大小不同	
		b 変形<奇形>	球状、破碎、標的、涙滴、ウニ状、有棘、楕円、鎌状、菲薄
		c 多染性	
		d 封入体	
e 連鎖形成			
9 白血球系疾患の検査結果の評価	A 白血球増加症	a 好中球増加症	
		b 好酸球増加症	
		c 好塩基球増加症	
		d 単球増加症	
		e リンパ球増加症	
		f 類白血病反応	
	B 白血球減少症	a 好中球減少症	
		b 好酸球減少症	
		c リンパ球減少症	
	C 白血球形態異常	a 核の異常、細胞質の異常	
	D リンパ球の異常	a 異型リンパ球など	
	10 造血器腫瘍系の検査結果の評価	A 造血器腫瘍の分類の概念	a FAB分類
b WHO分類			
B 急性白血病		a 急性骨髄性白血病<AML>	
		b 急性前骨髄球性白血病<APL>	
		c 急性骨髄単球性白血病<AMMoL>	
		d 急性単球性白血病<AMoL>	
		e 赤白血病	
		f 急性巨核芽球性白血病	
		g 急性リンパ性白血病<ALL>	
		h 系統不明な急性白血病<急性混合性白血病など>	
C 骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患		a 慢性骨髄性白血病<CML>	
		b 真性赤血球増加症<PV>	
		c 骨髄線維症	
		d 本態性血小板血症<ET>	
		e 慢性骨髄単球性白血病<CMMoL>	
D 骨髄異形成症候群<MDS>			
E 慢性リンパ性白血病および類縁疾患		a 慢性リンパ性白血病<CLL>	
		b ヘアリー細胞白血病<HCL>	
F 骨髄腫および類縁疾患		a 多発性骨髄腫	
		b 原発性マクログロブリン血症	
G 悪性リンパ腫		a 非Hodgkinリンパ腫<NHL>	

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考
		b Hodgkinリンパ腫<HL>	
	H その他	a 成人T細胞白血病<ATL>	
		b 大顆粒リンパ球性白血病<LGL>	
		c 血球貪食症候群<HPS>	
11 血栓止血検査結果の評価	A 血小板減少症	a 偽性血小板減少	
		b 特発性血小板減少性紫斑病<ITP>	
		c 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>	
		d 溶血性尿毒症症候群<HUS>	
		e ヘパリン起因性血小板減少症<HIT>	
		f 続発性血小板減少症	
	B 血小板増加症		
	C 血小板機能異常症	a 先天性血小板機能異常症	
		b 後天性血小板機能異常症	
	D 血小板形態異常		
	E 先天性凝固障害	a 血友病	
		b von Willebrand病<VWD>	
	F 後天性凝固障害	a 播種性血管内凝固<DIC>	
		b 重症肝障害に伴う凝固障害	
		c ビタミンK欠乏症	
		d 凝固因子インヒビター	後天性血友病
	G 線溶異常	a 先天性プラスミンインヒビター<PI>欠損症	
		b その他の線溶異常	
	H 血管の異常	a アレルギー性紫斑病	
		b その他の血管性紫斑病	
	I 血栓性素因	a アンチトロンビン<AT>欠損症	
		b プロテインC<PC>欠損症	
		c プロテインS<PS>欠損症	
d 抗リン脂質抗体症候群			

VII章 臨床微生物学

医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
1 分類	A 生物学的位置	a 真核生物	
		b 原核生物	
	B 分類	a 細菌<マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアを含む>	
		b 真菌	
c ウイルス			
2 形態、構造及び性状	A 細菌の構造と性状		
	B 真菌の構造と性状		
	C ウイルスの構造と性状		
3 染色法	A 細菌の観察と染色法	a 単染色法	
		b Gram染色法	
		c 抗酸菌染色法	Ziehl-Neelsen染色
		d 芽胞染色法	
		e 莢膜染色法	
		f 鞭毛染色法	
		g 異染小体染色法	
		h 蛍光染色法	
	B 真菌の観察と染色法	a KOH法	
		b 墨汁法	
		c ラクトフェノールコットン青染色法	
4 発育と培養	A 細菌の発育	a 代謝と増殖	
		b 栄養素	
		c 発育に必要な条件<環境>	
	B 真菌の発育	a 代謝と増殖	
		b 栄養素	
		c 発育に必要な条件<環境>	
	C ウイルスの増殖		
	D 培地	a 培地の成分	
		b 培地の分類	
		c 増菌培地	
		d 分離培地	
		e 確認培地	
		f 保存用培地	
		g 輸送用培地	
	E 培養法	a 分離培養法	
		b 増菌培養法	
	F 培養環境	a 好気培養法	
		b 炭酸ガス培養法	
		c 微好気培養法	
		d 嫌気培養法	
5 遺伝と変異	A 遺伝子		

VII章 臨床微生物学

医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 遺伝物質<情報>の伝達		複製、転写、接合、形質導入、形質転換	
	C 変異			
6 滅菌と消毒	A 滅菌法	a 加熱滅菌		
		b ろ過滅菌		
		c ガス滅菌		
		d 放射線滅菌		
	B 消毒法	a 物理的消毒法		
		b 化学的消毒法	消毒薬の種類と特性	
		c 抗微生物スペクトル		
		d プリオンの不活化法		
7 化学療法	A 抗菌薬の基本	a 選択毒性		
		b 作用機序		
		c 抗菌スペクトル		
		d 抗菌薬のPK-PD		
	B 抗菌薬耐性	a 耐性の機序		
		b 不活化酵素	β -ラクタマーゼ	
		c 作用点変異	ペニシリン結合タンパク<PBP>	
		d 作用点修飾酵素		
	C 薬剤耐性菌	a	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>	
		b	ペニシリン耐性肺炎球菌<PRSP>	
		c	バンコマイシン耐性腸球菌<VRE>	
		d	ペニシリナーゼ産生リン菌<PPNG>	
		e	アンピシリン耐性インフルエンザ菌	
		f	多剤耐性緑膿菌<MDRP>	
		g	多剤耐性アシネトバクター<MDRA>	
		h	基質拡張型 β -ラクタマーゼ<ESBL>産生菌	
		i	カルバペネマーゼ産生菌	メタロ- β -ラクタマーゼ<MBL>産生菌
		j	多剤耐性結核菌<MDRTB>	
	D 抗菌薬の種類	a	β -ラクタム系抗菌薬	
		b	アミノグリコシド系抗菌薬	
		c	マクロライド系抗菌薬	
		d	テトラサイクリン系抗菌薬	
		e	キノロン系抗菌薬	
		f	ポリペプチド系抗菌薬	
		g	グリコペプチド系抗菌薬	

VII章 臨床微生物学

医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考	
		h ホスホマイシン		
		i リンコマイシン系抗菌薬		
		j サルファ剤		
		k クロラムフェニコール系抗菌薬		
		l ストレプトグラミン系抗菌薬		
		m オキサゾリジノン系抗菌薬		
		n リポペプチド系抗菌薬		
		o グリシルサイクリン系抗菌薬		
	E 抗結核薬			
	F 抗真菌薬			
	G 抗ウイルス薬	a 抗ヘルペスウイルス薬		
		b 抗インフルエンザウイルス薬		
		c 抗HIV薬		
	H 細菌の薬剤感受性検査法	a 最小発育阻止濃度<MIC>		
		b 最小殺菌濃度<MBC>		
		c ディスク拡散法		
		d 微量液体希釈法		
		e β -ラクタマーゼ検査法		
	I 抗菌薬治療	a 抗菌薬感受性とブレイクポイント		
		b 血中薬物濃度測定<TDM>	アミノグリコシド系薬、グリコペプチド系抗菌薬	
	8 感染と発症	A 常在細菌叢	a 常在細菌叢の分布	
			b 常在細菌叢と感染	
		B 微生物の病原因子	a 毒素<外毒素、内毒素>	
C 宿主の抵抗力		a 生体防御機構		
D 感染の発現		a 顕性感染		
		b 不顕性感染		
		c キャリア		
E 感染経路		a 接触感染		
		b 飛沫感染		
		c 空気感染		
		d 血液感染		
		e 経口感染		
		f 水平感染		
		g 垂直感染		
F 現代の感染症の特徴		a 市中感染症		
		b 日和見感染症		
		c 菌交代症		
		d 医療関連感染症<病院感染症、院内感染症>		
		e 輸入感染症		
		f 人獣<畜>共通感染症<動物由来感染症>		

VII章 臨床微生物学

医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
		g 性感染症<STD>	
		h 新興・再興感染症	
	G 食中毒	a 感染型食中毒	
		b 毒素型食中毒	
	H バイオセフティー	a バイオハザード対策	
		b エアロゾル感染	
		c 病原体の危険度分類<バイオセーフティレベル>	BSL 1、2、3、4
		d 生物学的安全キャビネット	クラスI、II、III
		e 感染性廃棄物の取扱い方	
	I 感染の予防と対策	a ワクチン	
		b 医療関連感染<病院感染、院内感染>防止対策、標準予防策、空気予防策、飛沫予防策、接触予防策	
		c 手洗い法<衛生手洗い法>	
		d 個人防護具<PPE>	
	J 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律<感染症法>	a 一類感染症	
		b 二類感染症	
		c 三類感染症	
		d 四類感染症	
		e 五類感染症	
		f 指定感染症	
		g 新型インフルエンザ等感染症	
		h 新感染症	
		i 特定病原体等<一種、二種、三種、四種>	
	K 感染制御とICT活動	a アウトブレイク	
		b サーベイランス	
c アンチバイオグラム			
d 抗菌薬の適正使用			

VII章 臨床微生物学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 細菌	A 好気性・通性嫌気性 グラム陽性球菌	a Genus <i>Staphylococcus</i>	
		b Genus <i>Streptococcus</i>	
		c Genus <i>Enterococcus</i>	
	B 好気性・通性嫌気性 グラム陰性球菌	a Genus <i>Neisseria</i>	
		b Genus <i>Moraxella</i>	
	C 通性嫌気性グラム陰性桿菌	a Genus <i>Escherichia</i>	
		b Genus <i>Shigella</i>	
		c Genus <i>Salmonella</i>	
		d Genus <i>Citrobacter</i>	
		e Genus <i>Klebsiella</i>	
		f Genus <i>Serratia</i>	
		g Genus <i>Enterobacter</i>	
		h Genus <i>Yersinia</i>	
		i Genus <i>Proteus</i>	
		j Genus <i>Morganella</i>	
		k Genus <i>Providencia</i>	
		l Genus <i>Plesiomonas</i>	
		m Genus <i>Vibrio</i>	
		n Genus <i>Aeromonas</i>	
		o Genus <i>Pasteurella</i>	
		p Genus <i>Haemophilus</i>	
		q Genus <i>Capnocytophaga</i>	
	r Genus <i>Bartonella</i>		
	D 好気性グラム陰性桿菌	a Genus <i>Pseudomonas</i>	
		b Genus <i>Burkholderia</i>	
		c Genus <i>Stenotrophomonas</i>	
		d Genus <i>Acinetobacter</i>	
		e Genus <i>Bordetella</i>	
		f Genus <i>Brucella</i>	
		g Genus <i>Francisella</i>	
		h Genus <i>Legionella</i>	
		i Genus <i>Coxiella</i>	
	E 微好気性グラム陰性らせん菌	a Genus <i>Campylobacter</i>	
		b Genus <i>Helicobacter</i>	
	F 好気性グラム陽性有芽胞桿菌	a Genus <i>Bacillus</i>	
	G 好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	a Genus <i>Listeria</i>	
b Genus <i>Corynebacterium</i>			
c Genus <i>Gardnerella</i>			
d Genus <i>Lactobacillus</i>			
H グラム陽性抗酸性桿菌	a Genus <i>Mycobacterium</i>		
	b Genus <i>Nocardia</i>		
I 嫌気性グラム陽性球菌	a Genus <i>Peptostreptococcus</i>		
	b Genus <i>Fingoldia</i>		

VII章 臨床微生物学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考	
		c Genus <i>Parvimonas</i>		
		d Genus <i>Peptoniphilus</i>		
	J 嫌気性グラム陰性球菌	a Genus <i>Veillonella</i>		
	K 嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌	a Genus <i>Clostridium</i>		
		b Genus <i>Bifidobacterium</i>		
	L 嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	a Genus <i>Propionibacterium</i>		
		b Genus <i>Actinomyces</i>		
	M 嫌気性グラム陰性桿菌	a Genus <i>Bacteroides</i>		
		b Genus <i>Parabacteroides</i>		
		c Genus <i>Prevotella</i>		
		d Genus <i>Porphyromonas</i>		
		e Genus <i>Fusobacterium</i>		
	N スピロヘータ	a Genus <i>Treponema</i>		
		b Genus <i>Borrelia</i>		
	O レプトスピラ	a Genus <i>Leptospira</i>		
	P マイコプラズマ	a Genus <i>Mycoplasma</i>		
	Q リケッチア	a Genus <i>Rickettsia</i>		
		b Genus <i>Orientia</i>		
		c Genus <i>Neorickettsia</i>		
		d Genus <i>Ehrlichia</i>		
R クラミジア	a Genus <i>Chlamydia</i>			
	b Genus <i>Chlamydophila</i>			
2 真菌	A 糸状菌	a Genus <i>Mucor</i>		
		b Genus <i>Aspergillus</i>		
		c Genus <i>Fonsecaea</i>		
	B 皮膚糸状菌	a Genus <i>Trichophyton</i>		
		b Genus <i>Epidermophyton</i>		
		c Genus <i>Microsporum</i>		
	C 二形性真菌	a Genus <i>Sporothrix</i>		
		b Genus <i>Histoplasma</i>		
		c Genus <i>Blastomyces</i>		
		d Genus <i>Coccidioides</i>		
		e Genus <i>Paracoccidioides</i>		
		f <i>Penicillium marneffeii</i>		
	D 酵母	a Genus <i>Candida</i>		
		b Genus <i>Cryptococcus</i>		
	E その他の真菌	a Genus <i>Pneumocystis</i>		
	3 ウイルス	A DNAウイルス	a ボックスウイルス	
			b ヘルペスウイルス	
			c アデノウイルス	
			d パピローマウイルス	
e ポリオーマウイルス				
f パルボウイルス				

VII章 臨床微生物学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
	B RNAウイルス	g ヘパドナウイルス	
		a オルトミキソウイルス	
		b パラミキソウイルス	
		c レトロウイルス	
		d フラビウイルス	
		e トガウイルス	
		f レオウイルス	
		g カリシウイルス	
		h ピコルナウイルス	
		i コロナウイルス	
		j フィロウイルス	
		k アレナウイルス	
		l ブニヤウイルス	
4 プリオン	A 異常プリオン蛋白		
5 検査法	A 無菌操作技術	a 無菌操作の基本技術	
		b 滅菌・消毒の技術	
	B 検体検査法とその技術	a 患者・検体情報の収集	
		b 主な検体の採取と保存	
		c 肉眼的観察	
		d 塗抹検査	
		e 前処理	
		f 分離培養	
		g 同定検査<確認培地、同定キットによる検査、自動機器による検査、質量分析計による検査>	
		h 薬剤感受性検査	CLSI標準法
		i 結果の報告	
		C 検体別細菌検査法	a 血液
	b 脳脊髄液		
	c 呼吸器<喀痰>		
	d 糞便		
	e 尿		
	f 穿刺液<脳脊髄液以外>		
	g 膿分泌物		
	D 嫌気性菌の検査法		
	E 抗酸菌の検査法	a 塗抹検査	蛍光染色、Ziehl-Neelsen染色、Kinyoun染色
		b 培養検査	液体培養法
		c 同定検査	
		d 薬剤感受性検査	比率法
e 核酸検査			
F 真菌の検査法	a 形態の観察		

VII章 臨床微生物学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		b (1→3)-β-Dグルカン検査	
		c 抗原検査	アスペルギルス抗原、クリプトコックス抗原等
	G ウイルスの検査法	a ウイルス粒子・抗原の検出	
		b ウイルス核酸<遺伝子>の検出	
		c 血清学的検査	
	H 免疫学的検査法		
	I 遺伝子・蛋白検査法	a 核酸ハイブリダイゼーション法<核酸プローブ法>	
		b 核酸増幅法	PCR法
		c 遺伝子型別法	
		d 質量分析法	
	J 迅速診断技術	a 顕微鏡による形態観察	
		b 免疫学的な抗原・抗体の検出	レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原検査
		c 毒素の検出	
		d 遺伝子の検出	
	K 検査に関与する機器	a 自動菌種同定装置	
		b 薬剤感受性検査装置	
c 遺伝子検査装置			
6 微生物検査結果の評価	A 検査結果の評価	a 感染症との関連	
		b 緊急連絡を要する検査結果<パニック値>とその取扱い	医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出等
		c 疫学<感染症サーベイランス、病院感染サーベイランス>との関連	
		d 精度管理	

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 生体防御の仕組み	A 免疫系による生体防御	a 自己・非自己の識別	
		b 免疫系の特徴、種類、異物排除	
	B 免疫担当器官、組織、細胞	a 第一次リンパ器官、第二次リンパ器官、分化	
		b T細胞	
		c B細胞	
		d 食細胞と抗原提示細胞	
		e NK細胞とNKT細胞	
		f 顆粒球	
	C 免疫の成立と調節	a 液性免疫応答	
		b 細胞性免疫応答	
		c CD抗原、細胞表面マーカー、シグナル伝達	
		d 抗体産生調節	
		e 主要組織適合抗原遺伝子複合体<MHC>分子	
		f サイトカインとそのレセプター	
		g 細胞接着因子	
		h 一次・二次免疫応答	
		i 免疫寛容<トレランス>	
	D 抗原	a 免疫原性、反応原性	
		b エピトープ、反応価	
		c 抗原分子の種類	
		d アジュバント	
	E 抗体<免疫グロブリン>	a 機能と構造	
		b 抗体分子の種類、性状、役割、抗原性	
		c 抗体産生に及ぼす因子	
		d ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体	
	F 補体	a 生体防御における役割	
b 活性化経路			
c 膜傷害複合体、フラグメントの生理活性			
d 生理活性の調節と制御因子			
e 抗補体作用、保存法、不活性化			
f コールドアクティベーション<cold activation>			
2 抗原抗体反応による分析法	A 抗原と抗体の結合	a 結合に關与する力	
		b 最適比、地帯現象<プロゾーン現象>	
		c 抗原抗体反応に影響する因子	
		d 抗原抗体反応の感度	
		e 非特異反応	

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
	B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用	a 免疫沈降反応	
		b 免疫凝集反応	
		c 免疫溶解反応	
		d 補体結合反応	
		e 中和反応	
		f 抑制反応	
		g 免疫比濁法・免疫比ろろ法<ネフェロメトリ>	
		h ラテックス凝集免疫比濁法・ラテックス凝集ネフェロメトリ	
		i 標識抗原または抗体法[RIA、酵素免疫測定法<ELISAまたはEIA>、蛍光免疫測定法、化学発光免疫測定法を含む]	
		j 試験管内抗原抗体反応	
		k フローサイトメトリ、イムノプロット、イムノクロマトグラフィ	
3 免疫と疾患の関わり	A 感染防御免疫	a 自然免疫、獲得免疫	
		b 能動免疫、受動免疫	
		c ウイルス感染と生体防御	
		d 細菌感染と生体防御	
		e 寄生虫感染と生体防御	
	B 感染症の免疫学的検査	a 溶血性連鎖球菌感染症	
		b サルモネラ感染症	
		c 梅毒トレポネーマ感染症	
		d マイコプラズマ感染症	
		e リケッチア感染症	
		f クラミジア感染症	
		g 肝炎ウイルス感染症	
		h レトロウイルス感染症	
		i 風疹ウイルス感染症	
		j インフルエンザウイルス感染症	
		k EBウイルス感染症	
		l トキソプラズマ感染症	
		m 真菌感染症	
	C 腫瘍免疫	a 腫瘍と免疫監視機構	
		b 腫瘍特異抗原と腫瘍関連抗原	
	D 腫瘍マーカー	a 概念	
		b 種類<AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、PIVKA-IIを含む>	
		c 検査法<RIA、EIAを含む>	
	E 免疫不全	a 液性免疫不全症	
		b 細胞性免疫不全症	
		c 食細胞機能不全症	
		d 補体欠損症	

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考	
	F アレルギー	a アレルギーの機序、分類、疾患		
		b 即時型アレルギーの検査法<皮膚反応、IgE定量、アレルゲン特異的IgE定量>		
	G 自己免疫	a 自己免疫疾患の発生機序と分類		
		b 自己抗体の種類<リウマトイド因子、抗CCP抗体抗核抗体、抗ミトコンドリア抗体、抗サイログロブリン抗体、抗基底膜抗体、Donath-Landsteiner抗体、抗赤血球抗体、抗血小板抗体、寒冷凝集素、抗リン脂質抗体を含む>		
		c 自己抗体の検査法<蛍光抗体法、酵素抗体法、間接凝集法、Donath-Landsteiner反応、RIAを含む>		
	H 炎症と急性期蛋白	a 炎症性サイトカイン		
		b CRP		
		c その他の急性期蛋白		
	I 異常免疫グロブリン症	a 単クローン性および多クローン性の高免疫グロブリン血症		
		b Bence Jones蛋白		
		c クリオグロブリン		
		d パイログロブリン		
	4 免疫検査の基礎知識と技術	A 抗体の作製	a 抗血清の作り方	
			b モノクローナル抗体作製技術	
			c 免疫グロブリンの分離、精製	
B 免疫器具・機器の取扱い		a 蛍光顕微鏡		
		b フローサイトメータ		
C 検査目的別採血、血清・血漿の処理・保存		a 採血時および採血後の温度管理、<寒冷凝集試験用、クリオグロブリン検査用、補体検査用>		
		b 不活性化		
		c 血清・血漿の保存		
D 血液細胞の分離・調整法		a 赤血球		
		b 顆粒球		
	c 単核球とリンパ球<T細胞、B細胞>			
5 免疫機能検査	A 液性免疫機能検査	a 免疫電気泳動・免疫固定法による解析		
		b 免疫グロブリンの定量	IgGサブクラス、IgG ₄	
	B 細胞性免疫機能検査	a リンパ球サブセットの解析		
		b サイトカインの定量		
		c リンパ球幼若化試験		
		d マクロファージ遊走阻止試験		

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		e 遅延型皮膚反応<ツベルクリン反応を含む>	
		f 結核菌特異的全血インターフェロング遊離測定法<IGRA>	
	C 食細胞機能検査	a 貪食能、遊走能、活性酸素産生能	
	D 補体系検査	a 血清補体価<CH50>測定	
		b 補体成分の定量	
6 輸血の基礎知識	A 血液型と同種抗原<変異と後天性変化を含む>	a ABO血液型<構造、遺伝、出現頻度を含む>	
		b ABO血液型の亜型と変種	
		c ABO血液型物質の変化<後天性Bを含む>	
		d Rh血液型<抗原、遺伝、出現頻度を含む>	
		e Rh血液型の変異型	
		f 血液型キメラとモザイク	
		g その他の血液型	
		h 白血球抗原<HLA>と分類	
		i 血小板抗原<HPA>と分類	
		j 血清型<アロタイプ>	
		7 輸血検査	A 輸血前検査
b 血液型検査			
c 不規則抗体スクリーニング			
d 交差適合試験<適合性試験>			
e 血液介在性感染症の検査			
B 血液型の検査	a ABO血液型<カラム凝集法を含む>		
	b ABO亜型<レクチン凝集法を含む>		
	c 分泌型と非分泌型		
	d Rh血液型<weak D、partial Dを含む>		
C 赤血球不規則抗体の同定	a パネル血球		
	b 間接抗グロブリン試験		
	c ブロメリン法<酵素処理法>		
	d アルブミン法<膠質溶液法>		
	e 生理食塩液法		
	f PEG・間接抗グロブリン試験		
	g LISS・間接抗グロブリン試験		
D 血小板抗体の同定	a 混合受身凝集反応<MPHA法>		
8 輸血管理	A 成分輸血療法の適応	a 輸血の適応決定	
		b 血液製剤の種類と量の決定	
	B 供血者と患者との適合性	a 輸血検査の精度管理	

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 輸血副作用・合併症	a 非溶血性副作用	アレルギー、蕁麻疹、輸血関連急性肺障害<TRALI>	
		b 溶血性副作用		
		c 輸血後GVHD<PT-GVHD>		
		d 輸血後感染症		
	D 自己血輸血	a 自己血輸血の適応、方法、採血基準		
	E 輸血血液の保存と管理	a 血液製剤<赤血球・血小板>の保存法、保護液、有効期間、管理法		
		b 血液バッグのセグメント		
		c 濃厚血小板		
	9 移植免疫と検査	A 移植免疫	a 主要組織適合抗原遺伝子複合体<MHC>分子	
			b 移植の原理と分類	
c 拒絶反応の機序				
d 移植における組織適合性とHLA抗原				
e 造血幹細胞移植とGVHD				
f 免疫抑制				
B 造血幹細胞移植の検査		a 幹細胞の分離と同定		
		b 血液型キメラ		
		c 造血幹細胞移植の適応<骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植を含む>		
10 母児不適合妊娠		A 血液型不適合妊娠	a 母児の血液型	
	b 母体血の間接抗グロブリン試験			
	c 臍帯・児血の直接抗グロブリン試験			
	d 交換輸血時の適合性検査			
	e 新生児溶血性疾患の予防			

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考	
1 医学概論	A 医学と医療の歴史	a 医学、医療		
		b 衛生学と公衆衛生学		
		c 根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイドライン		
	B 社会と健康	a 憲法第25条		
		b 世界保健機関<WHO>憲章における健康の定義		
		c 少子高齢化		
	C 医療と社会の状況	a 地域医療と医療計画		
		b 日本の医療の特徴	国民皆保険	
		c 病院と診療所		
		d 医療従事者、チーム医療		
		e 社会保障、社会福祉、医療扶助		
		f 国民医療費		
	D 医療制度	a 日本・諸外国の医療制度		
	E 医の倫理	a ヒポクラテスの誓い		
		b 患者の権利の尊重		
		c 医療安全		
		d 医療倫理		
		e ヘルシンキ宣言		
		f インフォームドコンセント		
		g 個人情報保護		
2 公衆衛生の意義	A 健康・疾病・予防	a 疾病予防と健康増進		
		b 一次予防、二次予防、三次予防		
		c スクリーニング、健康診断		
		d 疾病・障害の概念	国際生活機能分類<ICF>	
		e ノーマライゼーションの考え方		
3 人口統計と健康水準	A 人口静態統計	a 日本の人口	年少人口、生産年齢人口、老年人口、従属人口	
		b 国勢調査		
	B 人口動態統計	a 出生、出生率、合計特殊出生率、再生産率		
		b 死亡、粗死亡率、年齢調整死亡率、死産		
		c 婚姻、離婚		
		d 平均余命と平均寿命、生命表		
	C 疾病・障害統計	a 国民生活基礎調査、有訴者率		
		b 患者調査、受療率		
	4 疫学	A 疫学の考え方	a 公衆衛生と疫学	
			b リスクとリスクファクター	
c 妥当性				
d バイアスとエラー、交絡因子				
e 疫学と因果関係、Hillの基準				

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考
	B 疫学指標、疫学調査法	a 記述疫学、分析疫学	
		b 縦断研究と横断研究、罹患率と有病率	
		c コホート研究、症例対照研究	
		d ランダム化比較対照試験<RCT>	
		e 相対危険度、寄与危険度	
		f オッズ比	
5 環境と健康	A 地球環境	a 地球環境問題	
		b 地球温暖化	
		c オゾン層破壊	
		d 酸性雨	
	B 生活環境	a 屋内環境	
		b 上水	
		c 下水	
		d 廃棄物	
		e 悪臭	
		f 環境たばこ煙と受動喫煙	
		g 温熱環境	
	C 生物環境	a 感染の成立要因<感染源、感染経路、感受性>	
		b 新興感染症、再興感染症、検疫感染症	
		c 結核	
		d 医療関連感染<院内感染>	
		e 感染予防<感染源・感染経路・感受性対策>	
		f 予防接種	
		g 感染症流行予測事業・発生動向調査事業	
	D 物理環境	a 電離放射線	
		b 非電離放射線	
		c 寒冷・高温	熱中症
		d 気圧	減圧症
		e 騒音	
		f 振動	
	E 化学環境	a 大気	
		b 有害ガス	
		c 粉じん	
		d 有機物質	
		e 金属	
		f 発がん物質	
g 内分泌かく乱物質			
h 大気汚染			
i 水質汚濁			
j 土壌汚染			

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考
		k 公害のエピソード	
	F 環境リスクの評価	a 量反応関係、閾値、LOEL、NOEL、LD50、ED50	
		b 環境基準、許容濃度	
		c 1日許容摂取量	
		d 生物学的モニタリング	
		e リスク評価とリスク管理	
	G 環境検査法	a 水質検査、空<大>気試験	
6 健康の保持増進	A 栄養保健	a 国民栄養の現状	
		b 国民健康・栄養調査	
	B 食品安全および食品衛生	a 食品添加物	
		b 食中毒	
		c 食品監視	
		d 輸入食品	
	C 母子保健	a 母子保健の指標	乳児死亡、周産期死亡、幼児死亡、妊産婦死亡
		b 妊産婦、乳幼児健康診査	
		c 新生児マス・スクリーニング	
	D 学校保健	a 健康教育・保健管理	
		b 学校伝染病	
		c 学校精神保健	
		d 学校安全	
		e 健康診断	
	E 成人保健	a 生活習慣病の発症と予防、リスクファクター	
		b 国民健康づくり対策	
	F 老人保健	a 高齢者福祉対策	
		b 在宅医療	
	G 精神保健	a 精神保健福祉対策、精神保健福祉センター	
		b 入院形態、精神保健指定医	措置入院、医療保護入院
		c 薬物依存	
	H 産業保健	a 労働災害と業務上疾病	
		b 労働衛生管理	
c 一般健康診断・特殊健康診断			
d 交代制勤務			
e 産業疲労、過重労働<過労死>			
f トータル・ヘルス・プロモーション			
7 衛生行政	A 衛生行政	a 一般衛生行政	
		b 労働衛生行政	
		c 環境保全行政	

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 医療制度、地域保健	a 地域医療計画と一次医療、二次医療、三次医療		
		b 保健所の役割		
		c 救急医療		
		d 災害医療		
		e 僻地医療		
	C 社会保険	a 医療保険		
		b 年金保険		
		c 雇用保険		
		d 労災保険		
		e 介護保険		
	D 社会福祉	a 児童福祉・母子福祉		
		b 老人福祉		
		c 心身障害者福祉		
	8 国際保健	A 国際機関・医療協力	a 世界保健機関<WHO>	
			b 国際連合<UN>	
c 国際協力機構<JICA>				
d 国連環境計画<UNEP>				
B 世界の保健状況		a 世界の人口		
		b 死亡統計		
		c 感染症の実態	HIV、結核、マラリア	
		d プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション		
9 憲法および関係法規	A 臨床検査技師等に関する法律	a 総則		
		b 免許		
		c 試験		
		d 業務		
		e 罰則		
	B 医事法規	a 医療法		
		b 医師法		
		c 保健師助産師看護師法		
		d 診療放射線技師法		
		e 臨床工学技士法		
	C 薬事法規	a 毒物及び劇物取締法		
		b 薬事法		
		c 麻薬及び向精神薬取締法		
		d 大麻取締法		
	D 保健衛生法規	a 地域保健法		
		b 母子保健法		
		c 健康増進法		
		d 高齢者の医療の確保に関する法律		
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>		

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考
	E 予防衛生法規	a 感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律<感染症法>	
		b 予防接種法	
		c 検疫法	
	F 環境衛生法規	a 食品衛生法	
		b 環境基本法	
		c 公害健康被害の補償等に関する法律	
	G 労働衛生法規	a 労働基準法	
		b 労働安全衛生法	
		c 労働者災害補償保険法	
	H 社会保障・福祉関連法規	a 生活保護法	
		b 障害者基本法	
		c 障害者自立支援法	

X章 医用工学概論

医療工学及び情報科学

大項目	中項目	小項目	備考	
1 臨床検査と生体物性	A 生体の物理的特異性			
	B 生体物性の基礎	a 電気的特性		
		b 力学的特性		
		c 超音波特性		
		d 熱的特性		
		e 光学的性質		
		f 磁気的特性		
		g 放射線特性		
2 電気・電子工学の基礎	A 電気回路の基礎	a 電圧・電流・抵抗の概念		
		b オームの法則		
		c キルヒホッフの法則		
		d ブリッジ回路		
	B 直流回路の性質と用途	a 抵抗と抵抗率		
		b 電気エネルギーと電力量		
		c 電力の概念		
		d ジュールの法則		
	C 交流回路の性質と用途	a 抵抗<R>・コイル<L>・コンデンサ<C>の基本的性質		
		b RLC直列・並列回路		
		c インピーダンスとその周波数特性		
	D 半導体の性質と用途	a 半導体の概念		
		b ダイオード・トランジスタ・FETの基本的性質		
	3 医用電子回路	A アナログ回路	a 増幅器・増幅回路	負帰還増幅、演算増幅
			b 差動増幅器	
			c フィルタ回路	時定数、遮断周波数
d 電源回路			整流、平滑	
B デジタル回路		a 論理回路の基礎		
		b パルス回路		
		c AD・DA変換	サンプリング定理	
C 変調と復調		a 変調復調の概念	モデム<modem>	
		b アナログ変調	AM、FM	
		c デジタル変調	PCM	
4 生体情報の収集		A センサ・トランスデューサの原理と構造	a 不分極電極	Ag/AgCl
			b 物理量センサ・トランスデューサ	
	c 化学量センサ・トランスデューサ			
	B 増幅器とのマッチング	a 信号源インピーダンスと入力インピーダンス		
	C 記録器・表示器の原理と特性	a 記録器		
		b 表示器		
	5 電氣的安全対策	A 電撃に対する人体反応	a 安全限界エネルギー	

X章 医用工学概論

医療工学及び情報科学

大項目	中項目	小項目	備考	
		b マクロショックとマイクロショック		
		B 電撃の周波数特性	a 最小感知電流と周波数特性	
		C 医用電気機器の安全基準	a クラス別分類と保護手段	
	b 装着部の形別分類と漏れ電流許容値			
	c 漏れ電流測定法			
	D 病院電気設備の安全基準	a 医用接地方式	EPRシステム	
		b 非接地配線方式		
		c 非常電源設備		
	E 電磁波障害とその対策			
	6 情報科学の基礎	A 情報の概念	a 情報理論の基礎	
b 情報の伝達・蓄積・利用				
B 情報処理		a 情報のコード化		
		b 情報の交換		
7 ハードウェア	A 中央演算処理装置	a CPUの役割と機能		
	B インタフェース			
	C 入出力装置	a 入力装置		
		b 出力装置		
	D 記憶装置	a 主記憶装置		
		b 補助記憶装置		
	E 通信装置	a 有線通信装置		
		b 無線通信装置		
8 ソフトウェア	A プログラム言語	a 高級言語の種類と役割		
	B オペレーティングシステム<OS>	a OSの種類と役割		
	C アプリケーションソフトウェア	a ソフトウェアの種類と役割		
9 コンピュータネットワーク	A ネットワークの概念	a イントラネット<LAN>		
		b インターネット<WWWを含む>		
	B ネットワークの構成とシステム	a イーサネット		
		b ネットワーク接続機器		
		c ネットワーク伝送システム		
		d クライアントサーバシステム		
	C 通信プロトコル	a TCP/IPプロトコル		
	D セキュリティ	a 認証ID・パスワード		
		b 情報の保護・秘匿<暗号化>		
		c セキュリティのシステム		
d コンピュータウイルス				
E インターネットのアプリケーション	a 電子メール			
	b Webブラウザ			
10 情報処理システム	A システムの概念	a システムと設計		
		b フローチャート		
	B 情報処理の利用形態	a 集中処理		
		b 分散処理		

X章 医用工学概論

医療工学及び情報科学

大項目	中項目	小項目	備考
		c バッチ処理	
		d リアルタイム処理	
		e タイムシェアリング処理<TSS>	
		f オンライン処理	
11 医療情報システム	A 医療情報システム	a オーダリングシステム	
		b 電子カルテシステム	
		c 遠隔診断支援システム	
		d 医用画像情報システム	
		e 個人・資格認証システム	
	B 医療情報の保護とプライバシー	a 情報の保護に関する知識	
		b プライバシーに関する理解	
	C 医療情報システムの運用	a データの入出力	
		b データの保存と圧縮	

検査総合管理学

大項目	中項目	小項目	備考
1 検査機器学総説	A 用手法と検査機器		
	B 取扱い上の注意と心構え		
2 共通機械器具の原理・構造	A 化学容量器	a ピペット、微量ピペット、メスフラスコ、メスシリンダ	
		b 検定公差、検定法、洗浄法	
	B 天秤	a 等比天秤	
		b 直示天秤	
		c 電子天秤	
	C 遠心分離装置	a 汎用遠心分離機	
		b 高速遠心分離機	
		c ヘマトクリット用遠心分離機	
		d 分析用超遠心分離機	
	D 分離分析装置	a 電気泳動装置	
		b クロマトグラフ	
	E 攪拌装置	a 攪拌機	
		b ミキサ	
	F 恒温装置	a 恒温水槽	
		b 孵卵器	
		c 乾燥器	
	G 保冷装置	a 冷蔵庫	
		b 冷凍庫	
	H 滅菌装置	a 乾熱滅菌装置	
		b 高圧蒸気滅菌装置<オートクレーブ>	
		c 酸化エチレンガス滅菌装置<EOG>	
		d プラズマ滅菌装置	
	I 測光装置	a 分光光度計	
		b 蛍光光度計	
	J 顕微鏡装置	a 生物顕微鏡	
		b 実体顕微鏡	
		c 位相差顕微鏡	
		d 偏光顕微鏡	
		e 蛍光顕微鏡	
		f 電子顕微鏡	
		g デジタル撮影装置	
	K 電気化学装置	a pHガラス電極	
		b PCO ₂ 電極	
c PO ₂ 電極			
d 血液ガス分析装置			
L 純水製造装置	a 蒸留法		
	b 脱イオン法		
	c 逆浸透法		

欧文索引

1

1, 5-アンヒドログルシトール.. 29
 1, 5-AG..... 29
 (1→3) β-D-グルカン..... 31
 (1→3)-β-Dグルカン検査..... 52
 1日許容摂取量..... 60

5

5-HIAA..... 4
 5-ヒドロキシインドール酢酸.... 4

7

75g経口ブドウ糖負荷試験..... 29

A

ABI..... 22
 ABO亜型..... 56
 ABO血液型..... 56
 ABO血液型物質の変化..... 56
 ABO血液型の亜型と変種..... 56
 ABR..... 24, 26
 ACE..... 31
 ADA..... 5, 31
 AD・DA変換..... 63
 Addison病..... 14
 ADH不適合分泌症候群..... 13
 AFP..... 37, 54
 Ag/AgCl..... 63
 AIDS..... 12
 AIHA..... 42
 Alcian blue染色..... 36
 ALK..... 37
 ALL..... 13, 43
 ALP..... 17, 30
 ALT..... 17, 30
 Alzheimer病..... 14
 AM..... 63

AML..... 13, 43
 AMMoL..... 43
 AMoL..... 43
 APL..... 43
 APTT..... 18, 42
 ASO..... 17
 AST..... 17, 30
 AT..... 42
 ATL..... 13, 44
 azan染色..... 36

B

BALF..... 5
 BAP..... 30
 base excess..... 23
 Basedow病..... 13
 BE..... 23
 Behçet病..... 15
 Bence Jones蛋白..... 4, 55
 Berlin blue染色..... 37
 Bethesdaシステム癌取扱い規約に準じた報告様式..... 38
 BNP..... 16, 31
 Bodian染色..... 37
 Brecher - Cronkite法..... 41
 Brecher法..... 41
 Brugada症候群..... 21
 BSL 1、2、3、4..... 48
 B細胞..... 53, 55
 Bモード法とMモード法..... 25

C

Ca..... 18
 CA125..... 37, 54
 CA19-9..... 54
 CCr..... 18
 CD20..... 37
 CD3..... 37
 CD抗原..... 41, 53
 CEA..... 37, 54
 CK..... 5, 16, 19, 30
 CKD診療ガイドライン..... 16

c-kit..... 37
 CLL..... 13, 43
 CLSI標準法..... 51
 CML..... 13, 43
 CMMoL..... 43
 CO₂分圧..... 19, 23
 cold activation..... 53
 Congo red染色..... 37
 COPD..... 11, 23
 CPUの役割と機能..... 64
 Creutzfeldt-Jakob病..... 14
 Creutzfeldt-Jakob病..... 24
 Crohn病..... 11
 CRP..... 17, 30, 55
 Cushing症候群..... 14
 cytokeratin..... 37
 Cバンド..... 9

D

desmin..... 37
 DIC..... 13, 44
 DLco..... 22
 DNAウイルス..... 50
 DNA抽出..... 8
 DNAの損傷と修復..... 8
 DNAの複製..... 8
 DNAマイクロアレイ法..... 8
 Donath-Landsteiner抗体..... 55
 Donath-Landsteiner反応..... 55
 DOPA反応..... 37
 Down症候群..... 15
 DPD..... 31
 D-ダイマー..... 18, 42

E

E/A..... 25
 EBウイルス感染症..... 54
 EBウイルス感染症..... 12
 ED50..... 60
 eGFR..... 4, 30
 EGFR..... 37
 EIA..... 27, 54

欧文索引

- | | | |
|---|--|--|
| <p>elastica van Gieson染色..... 36</p> <p>ELISA..... 54</p> <p>EOG..... 66</p> <p>EPRシステム..... 64</p> <p>ER..... 37</p> <p>ERP..... 24</p> <p>ET..... 13, 43</p> <p>F</p> <p>FABP..... 31</p> <p>FAB分類..... 43</p> <p>Fallot四徴症..... 10</p> <p>fasciculation..... 24</p> <p>FDP..... 18, 42</p> <p>Feulgen反応..... 37</p> <p>FEV_{1.0}..... 22</p> <p>FISH法..... 8, 9, 37</p> <p>fluorescence in situ
 hybridization..... 8, 9</p> <p>fluorescence <i>in situ</i>
 hybridization法..... 37</p> <p>FM..... 63</p> <p>FMD..... 22</p> <p>FVC..... 22</p> <p>F波..... 24</p> <p>G</p> <p>GA..... 19</p> <p>Gaucher病..... 15</p> <p>Genus <i>Acinetobacter</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Actinomyces</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Aeromonas</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Aspergillus</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Bacillus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Bacteroides</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Bartonella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Bifidobacterium</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Blastomyces</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Bordetella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Borrelia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Brucella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Burkholderia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Campylobacter</i>..... 49</p> | <p>Genus <i>Candida</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Capnocytophaga</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Chlamydia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Chlamydophila</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Citrobacter</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Clostridium</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Coccidioides</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Corynebacterium</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Coxiella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Cryptococcus</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Ehrlichia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Enterobacter</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Enterococcus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Epidermophyton</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Escherichia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Fingoldia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Foncceaea</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Francisella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Fusobacterium</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Gardnerella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Haemophilus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Helicobacter</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Histoplasma</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Klebsiella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Lactobacillus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Legionella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Leptospira</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Listeria</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Microsporium</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Moraxella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Morganella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Mucor</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Mycobacterium</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Mycoplasma</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Neisseria</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Neorickettsia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Nocardia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Orientia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Parabacteroides</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Paracoccidioides</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Parvimonas</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Pasteurella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Peptoniphilus</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Peptostreptococcus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Plesiomonas</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Pneumocystis</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Porphyromonas</i>..... 50</p> | <p>Genus <i>Prevotella</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Propionibacterium</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Proteus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Providencia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Pseudomonas</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Rickettsia</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Salmonella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Serratia</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Shigella</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Sporothrix</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Staphylococcus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Stenotrophomonas</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Streptococcus</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Treponema</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Trichophyton</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Veillonella</i>..... 50</p> <p>Genus <i>Vibrio</i>..... 49</p> <p>Genus <i>Yersinia</i>..... 49</p> <p>Giemsa染色..... 37, 38</p> <p>GIST..... 34</p> <p>Gram染色..... 37</p> <p>Gram染色法..... 45</p> <p>Grimelius染色..... 37</p> <p>Grocott染色..... 37</p> <p>Guillain-Barré症候群..... 14</p> <p>Gバンド..... 9</p> <p>H</p> <p>Ham試験..... 18, 41</p> <p>Hb..... 18, 41</p> <p>HbA1c..... 19, 29</p> <p>HBe抗体..... 17</p> <p>HBe抗原・抗体..... 17</p> <p>HBs抗原・抗体..... 17</p> <p>hCG..... 4</p> <p>HCL..... 43</p> <p>HCO₃⁻..... 19, 23, 28</p> <p>HCV抗体..... 17</p> <p>HDL-コレステロール..... 19, 29</p> <p>hematoxylin-eosin染色..... 36</p> <p>hematoxylin液の種類と組成..... 36</p> <p>HER2..... 37</p> <p>H-E染色..... 36</p> <p>Hillの基準..... 58</p> <p>His束心電図..... 22</p> |
|---|--|--|

欧文索引

HIT..... 44
 HIV..... 61
 HL..... 13, 44
 Hodgkinリンパ腫..... 13, 44
 Holter心電計..... 22
 Holter心電図検査..... 22
 HPLC..... 27
 HPS..... 13, 44
 HS..... 42
 Ht..... 18, 41
 HUS..... 44
 H反射..... 24

I

ICF..... 58
 ICG..... 17
 ICT..... 1
 IgA腎症..... 14
 IgE定量..... 55
 IgG₄..... 55
 IgGサブクラス..... 55
 IGRA..... 56
in situ hybridization法..... 37
 ISH法..... 37
 IS015189..... 1
 ITP..... 13, 44

J

JICA..... 61

K

K..... 18
 Ki67..... 37
 Kinyoun染色..... 51
 KL-6..... 17, 31
 Klinefelter症候群..... 15
 Klüver-Barrera染色..... 37
 Km..... 28
 KOH法..... 45
 Kossa反応..... 37

L

Lambert-Beerの法則..... 27
 Lambert-Eaton症候群..... 14, 24
 Lamb1鞭毛虫..... 6
 LAN..... 64
 LCAT..... 29
 LD..... 5, 16, 17, 19, 30
 LD・CKアイソザイム..... 16
 LD50..... 60
 LDL-コレステロール..... 19, 29
 LGL..... 44
 Lineweaver-Burkプロット..... 28
 LISS・間接抗グロブリン試験..... 56
 LOEL..... 60
 LP..... 22
 Lp(a)..... 29

M

MALDI-TOF MS..... 27
 Manson裂頭条虫..... 6
 Masson trichrome染色..... 36
 Masson-Fontana染色..... 37
 Masterの2階段試験..... 22
 MBC..... 47
 MCH..... 18, 41
 MCHC..... 18, 41
 MCTD..... 15
 MCV..... 18, 24, 41
 MDRA..... 46
 MDRP..... 46
 MDRTB..... 46
 MDS..... 13, 43
 MEG..... 24
 MEP..... 24
 methyl green-pyronin染色..... 37
 MIC..... 47
 Michaelis-Mentenの式..... 28
 modem..... 63
 MPH法..... 56
 MRI..... 19, 26
 MRSA..... 46
 mucicarmine染色..... 36, 37
 MUP..... 24

N

Na..... 18
 NAFLD..... 11
 NASH..... 11
 NHL..... 13, 43
 Niemann-Pick病..... 15
 NIRS..... 24
 Nissl染色..... 37
 NK細胞とNKT細胞..... 53
 NOEL..... 60
 NOR法..... 9
 NSE..... 37
 NST..... 1

O

O₂分圧..... 23
 O₂飽和度..... 23
 O₂分圧..... 19
 oil red O染色..... 37
 orcein染色..... 37
 OS..... 64
 OSの種類と役割..... 64
 OTC検査..... 1

P

P..... 18
 p53..... 37
 PaCO₂..... 19, 23
 PAI..... 42
 PAM染色..... 36
 PaO₂..... 19, 23
 Papanicolaou染色..... 38
 Parkinson病..... 14
 partial D..... 56
 PAS染色..... 41
 PAS反応..... 36, 37
 PBP..... 46
 PC..... 42
 PCM..... 63
 PCO₂電極..... 66
 PCR法..... 8, 52

欧文索引

- PEF..... 22
 PEG・間接抗グロブリン試験..... 56
Penicillium marneffeii..... 50
 PF1+2..... 41
 PpR..... 37
 PGx..... 8
 pH..... 23
 pHガラス電極..... 66
 pHメータ..... 28
 PI..... 42
 PIC..... 41
 PIE症候群/好酸球性肺炎..... 11
 PIVKA-II..... 54
 Plt..... 41
 PNH..... 42
 PO₂電極..... 66
 POCT..... 1, 28
 PPE..... 48
 PPNG..... 46
 Prescott-Brodie染色..... 4
 PRSP..... 46
 PS..... 42
 PSA..... 54
 PSG..... 19, 23
 PT..... 18, 42
 PTAH染色..... 37
 PT-GVHD..... 57
 PV..... 13, 43
 PWV..... 22
- Q**
- Qバンド..... 9
- R**
- RA..... 15
 Rapid Turnover Protein..... 29
 RBC..... 41
 RCT..... 59
 Ret..... 41
 Rh血液型..... 56
 Rh血液型の変異型..... 56
 RI..... 2
 RIA..... 27, 54, 55
- RLC直列・並列回路..... 63
 RNAウイルス..... 51
 RNA抽出..... 8
 ROC曲線..... 16
 RTP..... 29
 RT-PCR法..... 8
 Rバンド..... 9
- S**
- S100蛋白..... 37
 SaO₂..... 23
 SAS..... 11, 23
 SCV..... 24
 SEP..... 24
 SFMC..... 41
 SIADH..... 13
 SI単位..... 3
 Sjögren症候群..... 15
 SKY<spectral karyotyping>法.. 9
 SLE..... 15
 SOP..... 1
 SpO₂..... 23
 SSPE..... 24
 STD..... 48
 Sternheimer染色..... 4
 ST上昇..... 21
 ST低下..... 21
 ST上昇..... 21
 Sudan black B染色..... 36
 SudanIII染色..... 4, 36
- T**
- T1強調画像..... 26
 T2強調画像..... 26
 TAT..... 18, 41
 TCA回路..... 28
 TCP/IPプロトコル..... 64
 TDM..... 30, 47
 TIA..... 14
 toluidine blue染色..... 36
 TRALI..... 57
 TSS..... 65
 TTP..... 13, 44
- Turner症候群..... 15
 T細胞..... 53, 55
- U**
- UN..... 18, 61
 UNEP..... 61
- V**
- VC..... 22
 VEP..... 24
 Victoria blue-HE染色..... 36
 Victoria blue染色..... 36, 37
 vimentin..... 37
 VMA..... 4
 Vmax..... 28
 von Willebrand因子..... 40
 von Willebrand病..... 13, 44
 VRE..... 46
 VWD..... 13, 44
 VWF..... 40, 42
- W**
- Warthin-Starry染色..... 37
 WBC..... 41
 weak D..... 56
 Webブラウザ..... 64
 Weil病..... 12
 Westergren法..... 41
 Westerman肺吸虫..... 6
 WHO..... 61
 WHO分類..... 43
 Wilson病..... 15
 WPW症候群..... 10, 21
 WWW..... 64
- Z**
- Ziehl-Neelsen染色..... 51
 Ziehl-Neelsen染色..... 37, 45
 Zollinger-Ellison症候群..... 11

和文索引

その他

α_1 -アンチトリプシン	17
α_1 -ミクログロブリン	18
α 波	23
β_2 -ミクログロブリン	18
β 波	23
β -ラクタマーゼ	46
β -ラクタマーゼ検査法	47
β -ラクタム系抗菌薬	46
γ -GT	17, 30
δ 波	23
δ ビリルビン	30
θ 波	23

あ

アーチファクト	21, 24, 25
アイソザイム	30
アウトブレイク	48
亜鉛	19, 28
亜急性硬化性全脳炎	24
悪臭	59
悪性腫瘍	11
悪性腫瘍細胞の特徴	38
悪性腫瘍の検査	20
悪性中皮腫	11, 34
悪性貧血	42
悪性リンパ腫	13, 43
アコースティックシャドウ	25
アジュバント	53
アスコルビン酸	4
アスペルギルス抗原	52
アスペルギルス症	12
汗	5
圧測定	5
アディポサイトカイン	31
アデノウイルス	50
アデノシンデアミナーゼ	5, 31
アトピー性皮膚炎	15
アナログ回路	63
アナログ変調	63
アニオンギャップ	19, 28
アニサキス	6
アフィニティクロマトグラフィ	27
アプリケーションソフトウェア	64
アポトーシス	33
アポリポ蛋白	29
アミノグリコシド系抗菌薬	46
アミノグリコシド系薬	47
アミノ酸と蛋白質の構造と機能	29
アミノ酸と蛋白質の代謝	29
アミノ酸の吸収	29
アミノ酸の代謝	29
アミラーゼ	17, 30
アミロイドーシス	15
アミロイドの染色法	37
アメーバ赤痢	12
アルカプトン尿	4
アルカリホスファターゼ染色	41
アルコール性肝障害	11
アルドラーゼ	31
アルブミン	17
アルブミン法	56
アレナウイルス	51
アレルギー	55, 57
アレルギー性疾患	15
アレルギー性疾患・膠原病・免疫病の検査	19
アレルギー性疾患・膠原病・免疫不全	15
アレルギー性紫斑病	13, 44
アレルギーの機序	55
アレルギー特異的IgE定量	55
アロタイプ	56
アンギオテンシン変換酵素	31
暗号化	64
安全衛生管理	2
安全確認	26
安全限界エネルギー	63
安全対策・感染対策	21
アンチトロンビン	42
アンチトロンビン<AT>欠損症	44
アンチバイオグラム	48
アンピシリン耐性インフルエンザ菌	46
アンモニア	17, 30
アンモニアの処理	29

い

イーサネット	64
胃液	2
胃液検査	17
胃炎	11
イオン交換クロマトグラフィ	27
イオン選択電極	27
胃潰瘍	11
医学	58
医学概論	10, 58
医学と医療の歴史	58
胃癌	11, 34
閾値	60
頤筋筋電図	23
異型細胞の特徴	38
異型リンパ球	43
意識	23
医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出	52
医師法	61
医事法規	61
胃・十二指腸	34
胃・十二指腸潰瘍	34
萎縮	33
異常Q波	21
異常筋電図	24
異常心音図	22
異常心電図	21
異常値	16
異常超音波像	25
異常脳波	24
異常プリオン蛋白	51
異常ヘモグロビン症	42
異常免疫グロブリン症	55
異常誘発筋電図	24
移植・再生医療	8
移植と拒絶反応	34
移植における組織適合性とHLA抗原	57
移植の原理と分類	57
移植免疫	57
移植免疫と検査	57
胃切除後	42
異染小体染色法	45
異染色性	36

和文索引

位相差顕微鏡.....	66	イムノクロマトグラフィ ...	28, 54	う	
一次救命処置.....	10	イムノプロット.....	54	ウイルス.....	45, 50
一次止血.....	40	医用画像情報システム.....	65	ウイルス核酸<遺伝子>の検出...	52
一次・二次免疫応答.....	53	医用接地方式.....	64	ウイルス肝炎.....	12
一次予防.....	58	医用電気機器の安全基準.....	64	ウイルス感染症.....	12
一秒量.....	22	医用電子回路.....	63	ウイルス感染と生体防御.....	54
一類感染症.....	48	医療.....	58	ウイルス性出血熱.....	13
一過性脳虚血発作.....	14	医療安全.....	1, 58	ウイルス性肺炎.....	10
一種.....	48	医療関連感染.....	48, 59	ウイルスの検査法.....	52
一般衛生行政.....	60	医療関連感染症.....	47	ウイルスの構造と性状.....	45
一般健康診断・特殊健康診断...	60	医療機関と検査部門.....	1	ウイルスの増殖.....	45
一般的形態.....	6	医療経済.....	1	ウイルス粒子・抗原の検出.....	52
一般的性状.....	4, 5	医療事故と医療過誤.....	1	うっ血.....	33
遺伝.....	56	医療事故発生時の対処.....	1	ウニ状.....	43
遺伝学的検査.....	8	医療事故防止対策.....	1, 38	膿分泌物.....	51
遺伝子.....	45	医療従事者.....	58	ウルトラミクロトーム.....	38
遺伝子異常.....	15	医療情報システム.....	65	ウロビリノゲン.....	17
遺伝子異常と疾患.....	8	医療情報システムの運用.....	65	運動神経系.....	24
遺伝子型別法.....	52	医療情報の保護とプライバシー	65	運動神経伝導速度.....	24
遺伝子関連検査の種類.....	8	医療制度.....	58, 61	運動単位電位.....	24
遺伝子検査.....	8, 20	医療と社会の状況.....	58	運動負荷心電図検査.....	21
遺伝子検査装置.....	52	医療扶助.....	58	運動負荷の中止徴候.....	22
遺伝子検査法.....	7, 8	医療法.....	61	運動誘発電位.....	24
遺伝子診断.....	8	医療保険.....	61		
遺伝子・染色体異常と発生発達異常	33	医療保護入院.....	60		
.....		医療用ガス.....	2		
遺伝子・蛋白検査法.....	52	医療倫理.....	58	え	
遺伝子治療.....	8	イレウス.....	11	エアロゾル感染.....	48
遺伝子の異常.....	8	インシデント.....	1	衛生学と公衆衛生学.....	58
遺伝子の基礎.....	8	インスリノーマ.....	12	衛生行政.....	60
遺伝子の検出.....	52	インスリン.....	19	衛生検査所.....	1
遺伝子の構造と機能.....	8	インターネット.....	64	衛生手洗い法.....	48
遺伝子発現の調節.....	8	インターネットのアプリケーション	64	衛生動物.....	6
遺伝子変異と変異原.....	8	64	鋭波.....	23
遺伝子マッピング.....	9	インタフェース.....	64	栄養サポートチーム.....	1
遺伝情報管理.....	8	咽喉頭・食道.....	34	栄養素.....	45
遺伝情報の伝達と発現.....	8	イントラネット.....	64	栄養保健.....	60
遺伝性球状赤血球症.....	42	院内感染.....	48, 59	疫学.....	52, 58
遺伝性疾患.....	33	院内感染症.....	47	疫学指標.....	59
遺伝と変異.....	45	インピーダンスとその周波数特性	63	疫学調査法.....	59
遺伝の法則.....	8	インフォームドコンセント ..	8, 58	疫学と因果関係.....	58
遺伝物質<情報>の伝達.....	46	インフルエンザ.....	12	疫学の考え方.....	58
遺伝倫理.....	8	インフルエンザウイルス感染症	54	液状化検体<LBC>法.....	38
移動度とその影響因子.....	27			液性免疫応答.....	53
医の倫理.....	58			液性免疫機能検査.....	55
異物排除.....	53				
異物排泄機能検査.....	31				

和文索引

液性免疫不全症.....	54	外毒素.....	47	加算平均心電図.....	22
液体クロマトグラフィ.....	27	概念.....	54	可視光線.....	27
液体培養法.....	51	外部精度管理.....	3	可視光線と紫外線.....	27
エステラーゼ染色.....	41	外部精度評価.....	3	下肢静脈.....	25
エネルギー代謝.....	23	解剖学総論.....	33	過重労働.....	60
エピトープ.....	53	解剖学・病理学各論.....	34	下垂体.....	35
エルゴメータ負荷試験.....	22	概要.....	38	下垂体機能検査.....	18, 32
遠隔診断支援システム.....	65	潰瘍性大腸炎.....	11	下垂体機能低下症.....	13
演算増幅.....	63	概略.....	2	下垂体後葉ホルモン.....	31
炎症.....	33	化学環境.....	59	下垂体疾患.....	13
炎症細胞.....	34	化学検査.....	16, 19, 20	下垂体前葉ホルモン.....	31
炎症性サイトカイン.....	55	化学的検査法.....	4, 5	ガスクロマトグラフィ.....	27
炎症性疾患.....	11	化学的消毒法.....	46	ガス交換と運搬.....	22
炎症と急性期蛋白.....	55	化学的性質と組成.....	30	ガス中毒.....	15
炎症の分類.....	34	化学発光免疫測定法.....	54	ガストリノーマ.....	12
遠心沈殿法.....	38	化学分析の単位.....	3	ガス分析.....	28
遠心分離装置.....	66	化学容量器.....	66	ガス滅菌.....	46
エンドトキシン.....	31	化学量センサ・トランスデューサ.....	63	化生.....	33
エンドポイント.....	22	化学療法.....	46	学校安全.....	60
お					
オーダリングシステム.....	2, 65	過換気症候群.....	11	学校精神保健.....	60
オートクレーブ.....	66	核型.....	9	学校伝染病.....	60
オームの法則.....	63	核型進化.....	9	学校保健.....	60
オキサゾリジノン系抗菌薬.....	47	核型分析.....	9	褐色細胞腫.....	13
屋内環境.....	59	顎口虫.....	6	活性.....	42
オゾン層破壊.....	59	拡散機能検査.....	16	活性化経路.....	53
オッズ比.....	59	核酸検査.....	8, 51	活性化部分トロンボプラスチン時間.....	18, 42
オペレーティングシステム.....	64	核酸増幅検査.....	17	活性酸素産生能.....	56
主な検体の採取と保存.....	51	核酸増幅装置.....	8	カットオフ値.....	16
オルトミキソウイルス.....	51	核酸増幅法.....	8, 52	カテーテル法.....	38
音響陰影.....	25	核酸代謝.....	8	カドミウム.....	15, 20
温熱環境.....	59	核酸抽出.....	8	加熱滅菌.....	46
オンライン処理.....	65	核酸・ヌクレオチド代謝異常.....	33	過敏性腸症候群.....	11
か					
外因.....	10, 33	核酸の種類.....	8	過敏性肺炎.....	11
介護保険.....	61	核酸の染色法.....	37	花粉症.....	15
介助.....	38	核酸ハイブリダイゼーション法.....	52	芽胞染色法.....	45
解析法.....	8	核酸プローブ法.....	52	鎌状.....	43
回虫.....	6	各種包埋法.....	36	可溶性フィブリンモノマー複合体.....	41
解糖系と糖新生.....	28	喀痰.....	2, 51	カラードプラ法.....	25
解糖阻止剤.....	2	喀痰検査.....	5, 17	ガラスナイフ.....	38
		拡張型.....	10	カラム凝集法.....	56
		拡張能.....	25	カリウム.....	18, 28
		獲得免疫.....	54	カリシウイルス.....	51
		確認培地.....	45, 51	顆粒球.....	53, 55
		核の異常.....	43	蚊類.....	7
		攪拌機.....	66	カルシウム.....	18, 28
		攪拌装置.....	66	カルバペネマーゼ産生菌.....	46
		過酸化脂質.....	29		

和文索引

過労死.....	60	関節.....	35	乾熱滅菌装置.....	66
川崎病.....	10	関節液.....	5	管理限界.....	3
肝炎.....	34	間接凝集法.....	55	管理法.....	57
肝炎ウイルス感染症.....	54	間接抗グロブリン試験.....	56	寒冷凝集試験用.....	55
肝炎ウイルス関連検査.....	17	関節リウマチ.....	15	寒冷凝集素.....	55
感覚器系.....	35	感染型食中毒.....	48	寒冷凝集素症.....	42
感覚器疾患.....	15	感染経路.....	47, 59	寒冷・高温.....	59
感覚器疾患の検査.....	19	感染源.....	59	緩和時間.....	26
感覚系の検査.....	26	感染源・感染経路・感受性対策.....	59		
感覚神経系.....	24	感染症.....	12, 14, 31		
感覚神経伝導速度.....	24	感染症サーベイランス.....	52		
肝癌.....	11, 25, 34	感染症との関連.....	52		
癌関連遺伝子.....	34	感染症の検査.....	17		
換気機能.....	22	感染症の実態.....	61		
換気機能検査.....	16, 22	感染症の免疫学的検査.....	54		
肝機能検査.....	17	感染症の予防及び感染症患者に対す る医療に関する法律.....	62		
眼球運動.....	23	感染症の予防及び感染症の患者に対 する医療に関する法律.....	48		
肝吸虫.....	6	感染症法.....	48, 62		
環境.....	45	感染症流行予測事業・発生動向調査 事業.....	59		
環境衛生法規.....	62	感染性医療廃棄物.....	2		
環境基準.....	60	感染制御とICT活動.....	48		
環境基本法.....	62	感染性心内膜炎.....	10		
環境検査法.....	60	感染性腸炎.....	11		
環境たばこ煙と受動喫煙.....	59	感染性廃棄物の取扱い方.....	48		
環境と健康.....	59	感染性肺疾患.....	10		
環境保全行政.....	60	感染対策.....	2		
環境リスクの評価.....	60	感染対策チーム.....	1		
肝硬変.....	11, 25, 34	感染と発症.....	47		
幹細胞の分離と同定.....	57	感染の成立要因.....	59		
観察法.....	38	感染の発現.....	47		
カンジダ症.....	12	感染の予防と対策.....	48		
肝疾患.....	11	感染防御免疫.....	54		
眼疾患.....	15, 19	感染予防.....	59		
間質性肺炎.....	11, 23	肝臓.....	34		
患者・検体情報の収集.....	51	乾燥器.....	66		
患者心理.....	10	乾燥固定.....	38		
患者心理と対応.....	21	肝・胆・膵疾患.....	11		
患者診療.....	16	肝・胆・膵疾患の検査.....	17		
患者調査.....	58	肝<胆道>機能検査.....	31		
患者と検体の確認.....	1	肝胆道系.....	25		
患者の権利の尊重.....	58	眼底検査.....	19, 26		
感受性.....	59	肝蛭.....	6		
冠状動脈の構造と機能.....	21	感度と特異度.....	16		
眼振検査.....	26	広東住血線虫.....	6		
冠性T波.....	21				
肝生検.....	17				
肝性脳症.....	24				

き

気圧.....	59
記憶.....	23
記憶装置.....	64
期外収縮.....	10
気管・気管支.....	34
気管支喘息.....	11, 15, 23
気管支肺胞洗浄液.....	5
気胸.....	11
奇形.....	33, 43
基質拡張型β-ラクタマーゼ<ESBL> 産生菌.....	46
記述疫学.....	59
技術的評価.....	3
基準測定操作法.....	3
基準範囲.....	16
偽性血小板減少.....	44
寄生虫学.....	6
寄生虫感染と生体防御.....	54
寄生虫検査.....	17
寄生虫検査法.....	7
寄生虫の形態と生活.....	6
寄生虫の分布と疫学.....	6
基礎.....	23, 24, 25
基礎医学.....	16
基礎・正常心電図.....	21
基礎的要素.....	23, 24
気体に関する一般的法則.....	22
気道過敏性検査.....	22
機能的残気量.....	22
機能と構造.....	53
キノコ.....	15
キノロン系抗菌薬.....	46
基本走査.....	25
基本的画像.....	26
逆浸透法.....	66

和文索引

- 脚ブロック..... 21
キャリア..... 47
吸引法..... 38
救急医療..... 10, 61
急降下爆撃音..... 24
吸光光度計..... 27
吸収..... 28, 29
球状..... 43
急性ウイルス性肝炎..... 11
急性冠症候群..... 10
急性期蛋白..... 29
急性巨核芽球性白血病..... 43
急性骨髄性白血病..... 13, 43
急性骨髄単球性白血病..... 43
急性混合性白血病..... 43
急性糸球体腎炎..... 14
急性腎不全..... 14
急性単球性白血病..... 43
急性白血病..... 43
急性前骨髄球性白血病..... 43
急性リンパ性白血病..... 13, 43
吸着・分配クロマトグラフィ... 27
吸虫類..... 6
供血者と患者との適合性..... 56
鏡検法..... 4
鏡検法による血球観察..... 41
凝固..... 40
凝固因子..... 40
凝固因子インヒビター..... 44
凝固因子活性..... 42
凝固因子のインヒビター..... 42
凝固因子の産生・構造・機能... 40
競合法と非競合法..... 27
凝固機序..... 40
凝固検査..... 17
凝固制御因子..... 40
凝固・線溶系..... 40
凝固・線溶系検査..... 42
凝固・線溶阻止物質の検査..... 42
凝固・線溶の検査..... 42
凝固促進..... 40
凝固の制御機構..... 40
狭心症..... 10, 21
胸腺..... 34
共存物質の影響..... 3
蟻虫..... 6
共通機械器具の原理・構造..... 66
強皮症..... 15
経皮的動脈酸素飽和度..... 23
胸膜..... 34
胸膜炎..... 11
胸膜疾患..... 11
莢膜染色法..... 45
業務..... 61
業務管理..... 1
鏡面現象..... 25
寄与危険度..... 59
棘波..... 23
虚血..... 33
虚血性心疾患..... 10, 25, 34
巨赤芽球性貧血..... 13
拒絶反応の機序..... 57
許容濃度..... 60
切り出し..... 36
切り出しの実際..... 36
キルヒホッフの法則..... 63
記録器..... 63
記録器・表示器の原理と特性... 63
筋萎縮性側索硬化症..... 24
緊急検査..... 1
緊急性..... 21
緊急連絡を要する検査結果<パニック値>とその取扱い..... 52
筋緊張性ジストロフィ..... 14
筋原性電位..... 24
菌交代症..... 47
筋疾患..... 14
近赤外線分光法..... 24
金属..... 59
筋組織..... 33
筋電計..... 24
筋電図..... 19
筋電図検査..... 24
筋の概要..... 33
筋無力症..... 14, 24
- く
- くも膜下出血..... 14
クライアントサーバシステム... 64
クラスI、II、III..... 48
クラス別分類と保護手段..... 64
クラミジア..... 45, 50
クラミジア感染症..... 12, 54
クラミジア肺炎..... 10, 12
グラム陽性抗酸性桿菌..... 49
クリアランス..... 4
クリーンベンチ..... 9
クリオグロブリン..... 55
クリオグロブリン検査用..... 55
クリオスタット..... 36
グリコアルブミン..... 29
グリコーゲンの代謝..... 28
グリコペプチド系抗菌薬... 46, 47
グリシルサイクリン系抗菌薬... 47
クリプトコックス抗原..... 52
クリプトコックス症..... 12
クリプトスポリジウム..... 6
クリプトスポリジウム症..... 12
グルコース..... 5, 19
クレアチニン..... 18, 30
クレアチニン・クリアランス... 18
クレアチン..... 19, 30
クレブス回路..... 28
クロージングボリューム..... 22
クロール..... 5, 18, 19, 28
クロスミキシング試験..... 42
クロマチンの構造..... 8
クロマトグラフ..... 66
クロマトグラフィ..... 27
クロラムフェニコール系抗菌薬... 47
- け
- 経口感染..... 47
蛍光顕微鏡..... 37, 55, 66
蛍光抗体法..... 37, 55
蛍光光度計..... 66
蛍光染色..... 51
蛍光染色法..... 45
蛍光測定..... 27
蛍光物質..... 27
蛍光分析の原理..... 27
蛍光分析法..... 27

和文索引

- 蛍光免疫測定法..... 54
 形質転換..... 46
 形質導入..... 46
 形状..... 5
 計測原理と方法..... 41
 形態..... 34, 45
 形態的变化と経過..... 34
 形態と機能..... 40
 形態に関する検査..... 41
 形態の観察..... 51
 経頭蓋磁気刺激検査..... 24
 系統不明な急性白血病..... 43
 頸動脈..... 25
 経路別予防策..... 2
 劇症肝炎..... 11
 下水..... 59
 血圧..... 16, 21
 血圧異常..... 10
 血液..... 7, 20, 51
 血液pH..... 19
 血液介在性感染症の検査..... 56
 血液・化学検査..... 17
 血液ガス分析装置..... 23, 66
 血液型キメラ..... 57
 血液型キメラとモザイク..... 56
 血液型検査..... 56
 血液型と同種抗原..... 56
 血液型の検査..... 56
 血液型不適合妊娠..... 57
 血液感染..... 47
 血液細胞抗原検査..... 41
 血液細胞の観察..... 41
 血液細胞の分離・調整法..... 55
 血液製剤<赤血球・血小板>の保存法
 57
 血液製剤の種類と量の決定..... 56
 血液・造血管系..... 34
 血液・造血管疾患..... 13
 血液・造血管疾患の検査..... 18
 血液の基礎..... 40
 血液の機能..... 40
 血液の性状..... 40
 血液の性状と血行動態..... 21
 血液の成分..... 40
 血液バッグのセグメント..... 57
 血液量..... 40
 結核..... 59, 61
 結核菌特異的全血インターフェロン
 γ遊離測定法..... 56
 結核症..... 12
 結果の評価..... 2
 結果の報告..... 51
 血管炎症候群..... 10
 血管・血管内皮下組織..... 40
 血管・血小板機能検査..... 42
 血管収縮・拡張..... 40
 血管超音波..... 25
 血管内皮機能検査..... 22
 血管の異常..... 44
 血管の機能..... 40
 血管迷走神経反射針刺し・切創..... 2
 血球..... 40
 血球回転..... 40
 血球数算定..... 17, 41
 血球貪食症候群..... 44
 血球貪食症候群..... 13
 血球に関する検査..... 41
 血球の産生と崩壊..... 40
 血球の分化・成熟..... 40
 血球粒度分布..... 41
 結合・支持組織..... 33
 結合に関与する力..... 53
 血算..... 17
 血漿..... 2
 血小板..... 40, 42
 血小板因子..... 40
 血小板機能異常症..... 44
 血小板機能検査..... 18
 血小板凝集能..... 42
 血小板形態異常..... 44
 血小板血栓..... 40
 血小板検査..... 18
 血小板減少症..... 13, 44
 血小板抗原<HPA>と分類..... 56
 血小板抗体の同定..... 56
 血小板数..... 18, 41
 血小板増加症..... 44
 血小板粘着能..... 42
 血小板の機能..... 40
 血清..... 2
 血清アルブミン..... 29
 血清化学検査..... 18
 血清学的検査..... 52
 血清型..... 56
 血清・血漿の処理・保存..... 55
 血清・血漿の保存..... 55
 血清総蛋白..... 29
 血清蛋白分画..... 29
 血清鉄..... 19, 28
 血清鉄・血清銅..... 17
 血清銅..... 19, 28
 血清補体価<CH50>測定..... 56
 結石検査..... 5
 結節性多発性動脈炎..... 15
 血栓..... 33
 血栓形成機序に重要な因子..... 40
 血栓止血検査結果の評価..... 44
 血栓性血小板減少性紫斑病..... 13, 44
 血栓性素因..... 44
 血中薬物測定法..... 30
 血中薬物濃度測定..... 47
 血沈..... 17
 血糖..... 19, 28
 血糖の調節機能..... 28
 血尿..... 4
 血餅収縮..... 40
 血餅収縮能..... 42
 血友病..... 44
 血友病A..... 13
 血友病B..... 13
 血流依存性血管拡張反応..... 22
 血流感染症..... 12
 血流と圧較差の評価..... 25
 解毒機能検査..... 31
 ケトン体..... 29
 ケトン体の代謝..... 29
 ゲノムDNA..... 8
 ゲル濾過クロマトグラフィ..... 27
 減圧症..... 59
 原因..... 34
 検査感染症..... 59
 検査法..... 62
 原核生物..... 45
 嫌気性菌感染症..... 12
 嫌気性菌の検査法..... 51
 嫌気性グラム陰性桿菌..... 50
 嫌気性グラム陰性球菌..... 50
 嫌気性グラム陽性球菌..... 49
 嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌... 50
 嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌... 50
 嫌気培養法..... 45

和文索引

- 献血者血液の検査..... 56
 健康教育・保健管理..... 60
 健康・疾病・予防..... 58
 健康診断..... 16, 58, 60
 健康増進法..... 61
 健康の保持増進..... 60
 検査依頼書..... 16
 検査受付..... 2
 検査過誤の管理..... 3
 検査管理の概念..... 1
 検査管理の定義..... 1
 検査機器..... 8, 9
 検査機器学総説..... 66
 検査機器管理..... 1
 検査器材..... 1
 検査計画..... 1
 検査結果の評価..... 3, 52
 検査結果の報告..... 2
 検査材料の採取と注意事項..... 7
 検査情報の活用..... 16
 検査診断学総論..... 16
 検査成績の管理..... 1
 検査成績の保存..... 2
 検査成績の読み方..... 16
 検査成績への付加情報・コメント..... 2
 検査体制..... 1
 検査体制の変遷..... 1
 検査に関与する機器..... 52
 検査の受付と報告..... 2
 検査の実際..... 25
 検査の精度保証..... 2
 検査のためのインフォームドコンセント..... 16
 検査の注意点..... 26
 検査の使い方..... 16
 検査の倫理..... 1
 検査の倫理規定..... 1
 検査部の組織..... 1
 検査部門の管理と運営..... 1
 検査部門の業務..... 1
 検査部門の組織と業務..... 1
 検査部門の役割..... 1
 検査法..... 5, 23, 24, 26, 51, 54
 検査法の信頼性評価..... 3
 検査目的..... 30
 検査目的別採血..... 55
 検査予約..... 2
 原子吸光計の原理と構成..... 27
 検診..... 16
 顕性感染..... 47
 検体検査..... 1
 検体検査法とその技術..... 51
 検体採取と保存..... 8
 検体採取法..... 38
 検体採取法・取り扱い法..... 2
 検体照合..... 2
 検体処理..... 2
 検体処理法..... 38
 検体試料の前処理..... 8
 現代の感染症の特徴..... 47
 検体の採取と保存..... 2
 検体の種別..... 2
 検体の種類..... 36
 検体の取り扱い..... 23, 38
 検体の取扱い..... 8
 検体の搬送と保存..... 2
 検体の前処理..... 2
 検体搬送..... 2
 検体別細菌検査法..... 51
 原虫..... 7
 原虫感染症..... 12
 原虫類..... 6
 検定公差..... 66
 検定法..... 66
 原発性アルドステロン症..... 14
 原発性肺癌..... 11
 原発性補体欠損症..... 15
 原発性マクログロブリン血症13, 43
 顕微鏡観察..... 9
 顕微鏡装置..... 66
 顕微鏡による形態観察..... 52
 顕微鏡の操作法..... 37
 憲法および関係法規..... 61
 憲法第25条..... 58
 原理..... 26
 原理と意義..... 28
 原理と測定法..... 25
 一
 抗CCP抗体抗核抗体..... 55
 抗DNA抗体..... 17
 抗HIV薬..... 47
 高圧蒸気滅菌装置..... 66
 抗インフルエンザウイルス薬..... 47
 抗ウイルス薬..... 47
 高エネルギー化合物の役割と種類27
 好塩基球増加症..... 43
 恒温水槽..... 66
 恒温装置..... 66
 公害健康被害の補償等に関する法律..... 62
 公害のエピソード..... 60
 光学顕微鏡..... 37
 抗核抗体..... 17
 光学的性質..... 63
 交換輸血時の適合性検査..... 57
 好気性グラム陰性桿菌..... 49
 好気性グラム陽性有芽胞桿菌..... 49
 好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌..... 49
 好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌..... 49
 好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌..... 49
 抗基底膜抗体..... 55
 好気培養法..... 45
 高級言語の種類と役割..... 64
 抗凝固剤..... 2
 抗菌薬治療..... 47
 抗菌スペクトル..... 46
 抗菌薬感受性とブレイクポイント47
 抗菌薬耐性..... 46
 抗菌薬のPK-PD..... 46
 抗菌薬の基本..... 46
 抗菌薬の種類..... 46
 抗菌薬の適正使用..... 48
 口腔..... 34
 合計特殊出生率..... 58
 抗結核薬..... 47
 抗血小板抗体..... 55
 抗血清の作り方..... 55
 抗血栓性の発現..... 40
 抗原..... 53, 56
 抗原検査..... 52
 抗原抗体反応..... 27
 抗原抗体反応に影響する因子..... 53
 抗原抗体反応による分析法..... 53
 抗原抗体反応の感度..... 53
 抗原性..... 53

和文索引

膠原線維の染色法	36	酵素反応速度	28	呼吸器系検査の基礎	22
抗原と抗体の結合	53	酵素反応速度論	30	呼吸器疾患	10
膠原病および類縁疾患	15	酵素免疫測定法	27, 54	呼吸器疾患の検査	16
抗原分子の種類	53	抗体	53	呼吸器の一般構造と機能	34
抗原量	42	抗体産生調節	53	呼吸機能検査	22
抗サイログロブリン抗体	55	抗体産生に及ぼす因子	53	呼吸機能検査異常	23
交差適合試験	56	交代制勤務	60	呼吸器の機能	22
好酸球減少症	43	抗体の作製	55	呼吸系運動負荷検査	23
好酸球増加症	43	抗体の種類と意義	37	呼吸生理	22
抗酸菌染色法	45	抗体分子の種類	53	呼吸抵抗	22
抗酸菌の検査法	51	抗体法	54	国際機関・医療協力	61
膠質溶液法	56	鉤虫	6	国際協力機構	61
公衆衛生と疫学	58	好中球減少症	43	国際生活機能分類	58
公衆衛生の意義	58	好中球増加症	43	国際保健	61
恒常性	27	後天性B	56	国際連合	61
甲状腺	26, 35	後天性凝固障害	44	国勢調査	58
甲状腺癌	13	後天性血小板機能異常症	44	国民医療費	58
甲状腺機能検査	18, 32	後天性血友病	44	国民栄養の現状	60
甲状腺機能亢進症	13	後天性出血性疾患	13	国民皆保険	58
甲状腺機能低下症	13	後天性心疾患	10	国民健康・栄養調査	60
甲状腺疾患	13	後天性免疫不全症候群	12	国民健康づくり対策	60
甲状腺ホルモン	31	光トポグラフィ検査	24	国民生活基礎調査	58
抗真菌薬	47	広汎性多棘徐波複合	24	国連環境計画	61
高精度染色体分染法	9	抗微生物スペクトル	46	固形腫瘍細胞培養	9
高精度分染用培養	9	高プロラクチン血症	13	誤差	2
抗赤血球抗体	55	興奮機序	23	誤差の許容限界	2
酵素	5, 16, 17, 19, 30	興奮伝導障害	10	誤差の分類	2
酵素異常症	42	興奮伝導と伝達	23	誤差要因	41
構造	56	抗ヘルペスウイルス薬	47	個人・資格認証システム	65
構造及び性状	45	酵母	50	個人・集団基準範囲	16
構造と種類	30	後方エコーの増減	25	個人情報保護	1, 58
構造と分類	28, 29	抗補体作用	53	個人防護具	48
酵素活性単位	30	抗ミトコンドリア抗体	17, 55	骨格筋	35
酵素活性の測定	30	交絡因子	58	骨型アルカリホスファターゼ	30
酵素活性の単位	3	交流回路の性質と用途	63	骨吸収マーカー	19, 31
梗塞	33	抗リン脂質抗体	42, 55	骨形成マーカー	30
高速遠心分離機	66	抗リン脂質抗体症候群	15, 44	骨疾患	15
拘束性肺疾患	11	高齢者の医療の確保に関する法律	61	骨髄	34, 40
酵素抗体法	37, 55	高齢者福祉対策	60	骨髄異形成症候群	13, 43
酵素消化法	36	コーティング固定	38	骨髄移植	57
酵素処理法	56	コールドアクティベーション	53	骨髄検査	18
酵素組織化学染色法	37	小型簡易測定器	28	骨髄細胞培養	9
酵素的分析法	28	小形条虫	6	骨髄腫および類縁疾患	13, 43
酵素電極	27	呼気ガス分析	23	骨髄線維症	13, 43
酵素と基質	28	呼吸運動とその調節	22	骨髄像	41
酵素の基礎	30	呼吸器	51	骨髄増殖性腫瘍	13
酵素の検査	30	呼吸器系	34	骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患	43

和文索引

- 骨粗鬆症..... 15
骨代謝..... 30
骨盤腔超音波..... 26
固定..... 9
固定液の種類と組成..... 36
固定の実際..... 36
固定法..... 36, 37, 38
固定法の実際..... 37
コホート研究..... 59
コメントエコー..... 25
雇用保険..... 61
コリンエステラーゼ..... 17, 30
五類感染症..... 48
コレステロール..... 16, 18
コレステロールの代謝..... 29
コレラ..... 12
コロナウイルス..... 51
婚姻..... 58
根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイドライン..... 16, 58
混合受身凝集反応..... 56
混合性結合組織病..... 15
コンサルテーション..... 16
混濁..... 5
混濁尿..... 4
コンパニオン検査..... 1
コンピュータウイルス..... 64
コンピュータネットワーク..... 64
コンプライアンス..... 22
- さ
- サーベイランス..... 48
サーモグラフィ..... 26
災害医療..... 61
災害対策..... 2
細気管支炎..... 11
細菌..... 45, 49
細菌感染症..... 12
細菌感染と生体防御..... 54
細菌性食中毒..... 12
細菌性肺炎..... 10
細菌の観察と染色法..... 45
細菌の構造と性状..... 45
細菌の発育..... 45
細菌の薬剤感受性検査法..... 47
- サイクロスポーラ..... 6
細血管障害性溶血性貧血..... 42
採血器具..... 2
採血基準..... 57
採血時の安全管理..... 2
採血条件..... 2
採血時および採血後の温度管理..... 55
採血法..... 2
再興感染症..... 59
歳差運動とラーモア周波数..... 26
最小感知電流と周波数特性..... 64
最小殺菌濃度..... 47
最小発育阻止濃度..... 47
再生..... 33
再生産率..... 58
再生不良性貧血..... 13, 42
臍帯血移植..... 57
最大酸素摂取量と心拍数・血圧..... 23
臍帯・児血の直接抗グロブリン試験..... 57
在宅医療..... 60
在宅検査..... 1
最適比..... 53
サイトカインとそのレセプター..... 53
サイトカインの定量..... 55
サイトメガロウイルス<CMV>感染症..... 12
サイドローブ..... 25
細胞..... 19, 53
細胞学的検査法..... 5, 38
細胞学的検査法の特徴..... 38
細胞質の異常..... 43
細胞周期..... 9
細胞診..... 20
細胞数..... 5
細胞性免疫応答..... 53
細胞性免疫機能検査..... 55
細胞性免疫不全症..... 54
細胞接着因子..... 53
細胞と組織..... 33
細胞内小器官の機能..... 27
細胞内小器官の構造と機能..... 33
細胞の基本構造..... 27
細胞の構造と働き..... 27
細胞の種類..... 5
細胞培養法..... 9
細胞判定区分..... 38
- 細胞表面マーカー..... 53
細胞分画..... 27
財務管理..... 1
細網線維の染色法..... 36
サザンロット法..... 8
左室駆出率..... 25
左室内径短縮率..... 25
擦過法..... 38
差動増幅器..... 63
砂糖水試験..... 41
作用機序..... 46
作用点修飾酵素..... 46
作用点変異..... 46
サラセミア..... 42
サルコイドーシス..... 11
サルファ剤..... 47
サルモネラ感染症..... 54
酸塩基平衡..... 19
酸化エチレンガス滅菌装置..... 66
産業疲労..... 60
産業保健..... 60
三次医療..... 61
三種..... 48
三次予防..... 58
酸性雨..... 59
産生と崩壊..... 40
三相波..... 24
酸素解離曲線..... 22
サンプリング定理..... 63
酸ホスファターゼ..... 30
三類感染症..... 48
- し
- シークエンス解析..... 8
シーケンサ..... 9
紫外線の光源..... 27
視覚..... 24
視覚器..... 35
磁気共鳴画像検査..... 26
色調..... 4, 5
磁気的特性..... 63
子宮癌..... 35
子宮筋腫..... 14
子宮疾患..... 14
子宮腫瘍..... 14

和文索引

- 糸球体機能検査..... 31
- 糸球体腎炎..... 14, 35
- 子宮内膜炎..... 14
- 子宮内膜症..... 14
- シグナル伝達..... 53
- 止血..... 40
- 止血機構..... 40
- 止血栓形成の開始機構..... 40
- 止血栓の形成..... 40
- 試験..... 61
- 試験管内抗原抗体反応..... 54
- 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床
応用..... 54
- 自己抗体..... 17
- 自己抗体の検査法..... 55
- 自己抗体の種類..... 55
- 自己血輸血..... 57
- 己血輸血の適応..... 57
- 自己・非自己の識別..... 53
- 自己免疫..... 55
- 自己免疫疾患..... 34
- 自己免疫疾患の検査..... 19
- 自己免疫疾患の発生機序と分類..... 55
- 自己免疫性肝炎..... 11
- 自己免疫性溶血性貧血..... 42
- 死産..... 58
- 支持体..... 27
- 脂質..... 16, 17, 29
- 脂質異常症..... 15
- 脂質代謝..... 19
- 脂質代謝異常..... 15, 33
- 脂質の検査..... 29
- 脂質の構造と機能..... 29
- 脂質の染色法..... 36
- 脂質の代謝..... 29
- 視床下部..... 34
- 視床下部ホルモン..... 31
- 事象関連電位..... 24
- 糸状菌..... 50
- 糸状虫..... 6, 7
- シスタチンC..... 31
- システムと設計..... 64
- システムの概念..... 64
- 自然毒..... 15
- 事前の検査説明..... 21
- 自然免疫..... 54
- 指尖容積脈波..... 22
- 持続的外来腹膜透析<CAPD>排液 . 5
- 市中感染症..... 47
- 疾患..... 55
- 疾患マーカー..... 31
- 湿固定..... 38
- 実体顕微鏡..... 66
- 疾病・障害統計..... 58
- 疾病・障害の概念..... 58
- 疾病の経過と転帰..... 10
- 疾病予防と健康増進..... 58
- 質量分析計による検査..... 51
- 質量分析法..... 27, 52
- 質量分析法の原理..... 27
- 指定感染症..... 48
- 時定数..... 63
- 自動解析装置..... 9
- 自動機器による検査..... 51
- 自動菌種同定装置..... 52
- 自動血液培養検査装置..... 51
- 自動血球計数器法..... 41
- 自動染色装置..... 36, 38
- 児童福祉・母子福祉..... 61
- 自動分析装置..... 4
- 自動分析法..... 28
- 自動包埋装置..... 36
- 耳鼻疾患..... 15, 19
- 死亡..... 58
- 脂肪肝..... 25, 34
- 脂肪球..... 5
- 脂肪酸結合蛋白..... 31
- 脂肪酸の代謝..... 29
- 死亡統計..... 61
- 脂肪尿..... 4
- 姉妹染色体分染法..... 9
- 社会と健康..... 58
- 社会福祉..... 58, 61
- 社会保険..... 61
- 社会保障..... 58
- 社会保障・福祉関連法規..... 62
- 試薬..... 1
- 試薬の管理..... 38
- 遮断周波数..... 63
- シャントビリルビン..... 30
- 臭気..... 4, 5
- 周期性同期性放電..... 24
- 重金属代謝..... 19
- 重金属中毒..... 15
- 充血..... 33
- 住血吸虫..... 6
- 周産期死亡..... 60
- 収支バランス..... 1
- 収縮能..... 25
- 重症肝障害に伴う凝固障害..... 44
- 重症筋無力症..... 14, 24
- 重症複合免疫不全症..... 15
- 重心動揺検査..... 26
- 従属人口..... 58
- 縦断研究と横断研究..... 59
- 集中処理..... 64
- 終点分析..... 28
- 十二指腸液..... 2
- 十二指腸液検査..... 17
- 十二指腸潰瘍..... 11
- 絨毛細胞培養..... 9
- 終夜睡眠ポリグラフィ..... 19
- 終夜睡眠ポリグラフィー..... 23
- ジュールの法則..... 63
- 主記憶装置..... 64
- 宿主の抵抗力..... 47
- 縮小条虫..... 6
- 樹脂包埋..... 37
- 手術材料..... 36
- 受精..... 33
- 出血..... 33
- 出血時間..... 42
- 出血性素因検査..... 18
- 出現頻度..... 56
- 出生..... 58
- 出生率..... 58
- 術中・術後診断..... 20
- 術中迅速組織標本作製法..... 36
- 術中モニタリング..... 24
- 出力装置..... 64
- 受動免疫..... 54
- 腫瘍..... 14, 34
- 主要組織適合抗原遺伝子複合体
<MHC>分子..... 53, 57
- 腫瘍特異抗原と腫瘍関連抗原... 54
- 腫瘍と免疫監視機構..... 54
- 腫瘍の発生原因と機序..... 34
- 腫瘍の広がり方..... 34
- 腫瘍の分類..... 34
- 腫瘍マーカー..... 20, 54
- 腫瘍免疫..... 54

和文索引

受療率.....	58	情報の交換.....	64	心筋症.....	10, 25, 34
種類.....	53, 54	情報のコード化.....	64	真菌の観察と染色法.....	45
循環器系.....	34	情報の伝達・蓄積・利用.....	64	真菌の検査法.....	51
循環器疾患.....	10	情報の保護に関する知識.....	65	真菌の構造と性状.....	45
循環器疾患の検査.....	16	情報の保護・秘匿.....	64	真菌の発育.....	45
循環器の一般構造と機能.....	34	情報理論の基礎.....	64	シングルマルチ型.....	28
循環系検査の基礎.....	21	静脈.....	34	神経.....	23
循環障害.....	33	静脈血.....	2	神経・運動器系.....	35
循環生理.....	21	静脈疾患.....	10	神経・運動器疾患.....	14
純水製造装置.....	66	静脈瘤.....	34	神経・運動器疾患の検査.....	19
消化.....	28, 29	蒸留法.....	66	神経炎.....	24
障害者基本法.....	62	症例対照研究.....	59	神経芽腫.....	14
障害者自立支援法.....	62	食細胞機能検査.....	56	神経系検査の基礎.....	23
消化管機能検査.....	32	食細胞機能不全症.....	54	神経系の一般構造と機能.....	35
消化管疾患の検査.....	17	食細胞と抗原提示細胞.....	53	神経原性電位.....	24
消化管ホルモン.....	31	食中毒.....	48, 60	神経支配と循環反射.....	21
消化器系.....	34	食道炎.....	11	神経組織.....	33
消化器疾患.....	11	食道癌.....	11, 34	神経組織の染色法.....	37
消化器の一般構造と機能.....	34	食品安全および食品衛生.....	60	神経伝導速度.....	24
消化吸収試験.....	17	食品衛生法.....	62	腎血流量検査.....	31
消化性潰瘍.....	11	食品監視.....	60	新興感染症.....	59
松果体.....	35	食品添加物.....	60	信号源インピーダンスと入力イン ピーダンス.....	63
上気道.....	34	植物毒.....	15	新興・再興感染症.....	48
小球性貧血.....	42	女性骨盤腔.....	26	進行性筋ジストロフィ.....	14, 24
常在細菌叢.....	47	女性生殖器.....	35	人口静態統計.....	58
常在細菌叢と感染.....	47	女性生殖器疾患.....	14	人口統計と健康水準.....	58
常在細菌叢の分布.....	47	初速度分析.....	28	人口動態統計.....	58
少子高齢化.....	58	ショック.....	10, 33	診察前検査.....	1
上室期外収縮.....	21	シラミ類.....	7	人事管理.....	1
上室頻拍.....	10, 21	自律神経.....	23	心疾患.....	31
上水.....	59	自律神経の検査.....	23	腎疾患.....	31
脂溶性ビタミン.....	31	試料の保存と管理.....	38	心室期外収縮.....	21
常染色体異常.....	15	腎盂炎.....	14	心室細動.....	21
条虫類.....	6	心音計.....	22	心室遅延電位.....	22
小腸・大腸・虫垂.....	34	心音図検査.....	22	心室中隔欠損症.....	10
消毒法.....	46	心音図検査とその異常.....	22	心室頻拍.....	21
消毒薬の種類と特性.....	46	心音の成因と性質.....	22	心室頻拍・細動.....	10
小人症.....	13	真核生物.....	45	人獣(畜)共通感染症.....	6
小脳の働き.....	23	新型インフルエンザ等感染症.....	48	人獣<畜>共通感染症.....	47
上皮小体.....	35	新感染症.....	48	腎腫瘍.....	14, 35
上皮組織.....	33	腎機能検査.....	4, 18, 31	心身障害者福祉.....	61
情報科学の基礎.....	64	真菌.....	45, 50	腎生検.....	18
情報管理.....	1	心筋炎.....	10	新生児聴覚スクリーニング.....	26
情報処理.....	64	真菌感染症.....	12, 54	新生児マス・スクリーニング.....	60
情報処理システム.....	64	心筋梗塞.....	10	新生児溶血性疾患の予防.....	57
情報処理の利用形態.....	64	心筋梗塞・急性冠症候群.....	21	真性赤血球増加症.....	13, 43
情報の概念.....	64	心筋疾患.....	10		

和文索引

腎性貧血	13
心臓	21, 34
腎臓	35
心臓腫瘍	25
心臓超音波	16, 25
腎臓・尿路の正常超音波像	25
心臓の機能	21
心臓の正常超音波像	25
心臓ペースメーカー心電図	21
心臓弁膜症	10, 22
迅速検査	1
迅速診断技術	52
人体骨格の概要	33
診断方法の変遷	1
心タンポナーデ	10
心電計	21
心電図	16
心電図検査	21
心電図の計測	21
心電図波形の成り立ち	21
心電図発現の機構	21
振動	59
浸透圧	18, 28
真度と精密さ	2
心内圧と心時相	21
心内血栓	25
心内心電図	22
腎・尿路系	35
腎・尿路系の一般構造と機能	35
腎・尿路結石	14
腎・尿路疾患の検査	18
腎・尿路・男性生殖器疾患	14
心	34
腎・胞	26
心拍出量	21
心不全	10
腎不全	14
心房細動	21
心房粗動	21
心房粗動・細動	10
心房中隔欠損症	10
心房肥大・心室肥大	21
心膜炎	10
心膜疾患	10, 25
蕁麻疹	15, 57
診療支援部	1
診療放射線技師法	61

す

腓逸脱酵素検査	17
髄液圧	19
髄液検査	19
髄液の生成と組成	5
髄液・リンパ節	41
腓炎	11, 25
髄外造血	40
腓外分泌機能検査	17, 31
腓癌	11, 34
腓機能検査	31
水銀	15, 19
推算糸球体濾過量	4
水質汚濁	59
腓疾患	11
水質検査	60
腓臓	34
腓臓の正常超音波像	25
腓臓ホルモン	31
垂直感染	47
腓島機能検査	18
腓内分泌機能検査	31
水平感染	47
髄膜炎	14
睡眠呼吸検査	23
睡眠時無呼吸症候群	11, 23
睡眠の生理と調節	23
水溶性ビタミン	31
腓ランゲルハンス島	35
スーパーマルチ型	28
頭蓋内出血	35
スクリーニング	58
スクリーニング検査	1, 17
スクリーニングの実際	38
ストレプトグラミン系抗菌薬	47
スパイロメトリ	22
スピロヘータ	50
スピロヘータ感染症	12

せ

精液	2
精液検査	5
生化学	40

生活環境	59
生活史と感染経路	6
生活習慣病の発症と予防	60
生活習慣病・肥満症	15
生活保護法	62
性感染症	48
性器クラミジア感染症	12
正球性貧血	42
生検材料	36
生検診断	20
生産年齢人口	58
性状	53
正常細胞の基本形態	38
生殖器系	35
生殖器の一般構造と機能	35
生殖細胞	9
生殖細胞系列遺伝子検査	8
生殖細胞の分裂	33
成人T細胞白血病	13, 44
精神保健	60
成人保健	60
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	61
精神保健指定医	60
精神保健福祉センター	60
精神保健福祉対策	60
精神保健福祉法	61
精製	55
生成と組成	5
性腺機能検査	18, 32
性染色体	9
性染色体異常	15
精巣腫瘍	14
生体エネルギー	27
生体検査の特異性	21
生体元素	27
生体色素	30
生体色素代謝異常	33
生体色素の検査	30
生体情報の収集	63
生体内色素の染色法	37
生体内の非蛋白性窒素成分の生成	30
生体内の薬物動態	30
生体内分布と血中酵素の起源	30
生体内分布と生理的意義	28
生体の物理的特異性	63
生体のリズム	27

和文索引

- 生体物質..... 27
 生体物性の基礎..... 63
 生体防御..... 40
 生体防御機構..... 47
 生体防御における役割..... 53
 生体防御の仕組み..... 53
 精度管理..... 2, 52
 精度管理試料..... 3
 精度管理に必要な統計学..... 2
 精度管理法..... 3
 精度管理法の分類..... 3
 生物化学分析の原理と方法..... 27
 生物学的安全キャビネット..... 48
 生物学的位置..... 45
 生物学的モニタリング..... 60
 生物環境..... 59
 生物顕微鏡..... 66
 成分輸血療法の適応..... 56
 性ホルモン..... 31
 精密検査..... 1
 生命現象の生体構成成分..... 27
 生命のメカニズム..... 27
 生命表..... 58
 生理学的機能検査..... 1
 生理活性の調節と制御因子..... 53
 生理機能検査..... 16, 19
 生理検査と資格制限..... 21
 生理食塩液法..... 56
 生理的意義..... 28, 29, 30
 生理的変化と賦活法..... 23
 生理的変動..... 16
 整流..... 63
 世界の人口..... 61
 世界の保健状況..... 61
 世界保健機関..... 61
 世界保健機関<WHO>憲章における健康の定義..... 58
 赤芽球癆..... 42
 脊髄の働き..... 23
 赤沈..... 17
 赤白血病..... 43
 セキュリティ..... 64
 セキュリティのシステム..... 64
 赤痢..... 12
 赤痢アメーバ..... 6
 赤血球..... 40, 55
 赤血球系疾患の検査結果の評価..... 42
 赤血球形態異常..... 43
 赤血球検査..... 18
 赤血球指数..... 18, 41
 赤血球浸透圧抵抗試験..... 41
 赤血球浸透圧抵抗性試験..... 18
 赤血球数..... 18, 41
 赤血球増加症..... 43
 赤血球沈降速度..... 17, 41
 赤血球不規則抗体の同定..... 56
 接合..... 46
 接触感染..... 47
 接触予防策..... 48
 切片伸展法..... 36
 セルブロック法..... 38
 セルロプラスミン..... 19, 30
 零次反応および一次反応..... 28
 線維束攣縮..... 24
 線維素の染色法..... 37
 全血..... 2
 潜血反応..... 17
 センサ・トランスデューサの原理と構造..... 63
 穿刺液..... 2, 51
 穿刺液検査..... 5
 穿刺法..... 38
 洗浄法..... 66
 染色体異常..... 33
 染色体異常の記載法..... 9
 染色体・遺伝子異常症..... 15
 染色体・遺伝子異常症の検査..... 20
 染色体検査..... 20
 染色体検査法..... 9
 染色体の基礎..... 9
 染色体の構造..... 9
 染色体の構造と機能..... 9
 染色体ペインティング法..... 9
 染色の実際..... 37
 染色法..... 4, 38, 45
 染色法概論..... 36
 染色前の操作..... 36
 全身性エリテマトーデス..... 15
 戦争イソスポーラ..... 6
 選択毒性..... 46
 先端巨大症・巨人症..... 13
 線虫類..... 6
 先天性凝固障害..... 44
 先天性血小板機能異常症..... 44
 先天性出血性疾患..... 13
 先天性心疾患..... 10, 22, 25
 先天性代謝異常..... 15
 先天性プラスミンインヒビター<PI>欠損症..... 44
 旋尾線虫..... 6
 旋毛虫..... 6
 線溶..... 40
 線溶異常..... 44
 線溶因子..... 40
 線溶因子の産生・構造・機能..... 40
 線溶機序..... 40
 線溶の制御機構..... 40
 前立腺癌..... 14, 35
 前立腺疾患..... 26
 前立腺肥大(症)..... 14

 そ

 騒音..... 59
 早期興奮症候群..... 21
 増菌培地..... 45
 増菌培養法..... 45
 造血因子..... 40
 造血幹細胞移植とGVHD..... 57
 造血幹細胞移植の検査..... 57
 造血幹細胞移植の適応..... 57
 造血器官..... 40
 造血器腫瘍系の検査結果の評価..... 43
 造血器腫瘍の分類の概念..... 43
 総コレステロール..... 19, 29
 走査型電子顕微鏡..... 38
 創傷の治療と肉芽組織..... 33
 総則..... 61
 相対危険度..... 59
 総蛋白..... 17
 装着部の形別分類と漏れ電流許容値..... 64
 総ビリルビン..... 30
 増幅器・増幅回路..... 63
 増幅器とのマッチング..... 63
 足関節上腕血圧比..... 22
 即時型アレルギーの検査法..... 55
 塞栓..... 33
 測定条件..... 28
 測定上の留意点..... 23

和文索引

- 続発性血小板減少症..... 44
側方陰影..... 25
組織..... 53
組織化学染色..... 37
組織・細胞..... 2
組織細胞障害とその修復機能... 33
組織診..... 20
組織内病原体の染色法..... 37
組織内無機物質の染色..... 37
粗死亡率..... 58
措置入院..... 60
測光装置..... 66
その他.....
2, 7, 11, 13, 16, 17, 26, 31, 41,
44
その他の一般検査..... 5
その他の解析法..... 8
その他の核酸増幅法..... 8
その他の急性期蛋白..... 55
その他の血液型..... 56
その他の血管炎症候群..... 15
その他の血管性紫斑病..... 44
その他の検査..... 24, 31
その他の検査機器..... 9
その他の原虫..... 7
その他の脂質の代謝..... 29
その他の真菌..... 50
その他の心電図..... 22
その他の線溶異常..... 44
その他の体液検査..... 5
その他の臨床生理検査..... 26
ソフトウェア..... 64
ソフトウェアの種類と役割..... 64
- た**
- 第一次リンパ器官..... 53
体液・電解質・酸-塩基平衡の検査
..... 18
ダイオード・トランジスタ・FETの基
本的性質..... 63
大顆粒リンパ球性白血病..... 44
大気..... 59
大気汚染..... 59
大球性貧血..... 42
体腔と縦隔..... 33
体細胞..... 9
体細胞遺伝子検査..... 8
胎児の血液循環..... 34
代謝・栄養異常の検査..... 19
代謝・栄養障害..... 15
代謝とATP産生..... 27
代謝と増殖..... 45
体循環..... 21
体循環と肺循環..... 34
大小不同..... 43
体性感覚誘発電位..... 24
胎生期造血..... 40
体性神経..... 23
耐性の機序..... 46
大腸癌..... 11, 34
大腸腫瘍..... 26
大動脈瘤..... 10
第二次リンパ器官..... 53
大脳の働きと機能の局在..... 23
胎盤..... 33
体表超音波検査..... 26
大複殖門条虫..... 6
大麻取締法..... 61
タイムシェアリング処理..... 65
ダイヤモンドナイフ..... 38
唾腺..... 26, 34
楕円..... 43
多剤耐性アシネトバクター..... 46
多剤耐性結核菌..... 46
多剤耐性緑膿菌..... 46
多重反射..... 25
多染性..... 43
多相性電位..... 24
脱イオン法..... 66
脱灰液の種類と組成..... 36
脱灰処理の実際..... 36
脱灰法..... 36
妥当性..... 58
多糖類の染色法..... 36
多発性筋炎..... 15, 24
多発性硬化症..... 14
多発性骨髄腫..... 13, 43
多包条虫..... 6
単位..... 3
単核球とリンパ球..... 55
胆管炎・胆嚢炎..... 11
胆管癌・胆嚢癌..... 11
単球増加症..... 43
単クローン性および多クローン性の
高免疫グロブリン血症..... 55
炭酸ガス培養器..... 9
炭酸ガス培養法..... 45
胆汁酸..... 17, 29
胆汁色素の代謝..... 30
男性骨盤腔..... 26
男性生殖器..... 35
弾性線維の染色法..... 36
胆石..... 26, 34
胆石症..... 11
単染色法..... 45
胆道癌..... 34
胆道系..... 34
胆道疾患..... 11
胆嚢..... 34
胆・炎..... 26
胆・ポリープ..... 26
蛋白質..... 5, 19, 29
蛋白質・アミノ酸代謝異常..... 33
蛋白質合成..... 8
蛋白質の検査..... 29
蛋白質の合成と分解..... 29
蛋白質の消化..... 29
蛋白代謝..... 19
蛋白代謝異常..... 15
蛋白分画..... 17, 18
単包条虫..... 6
断面解剖..... 33
- ち**
- 地域医療計画と一次医療..... 61
地域医療と医療計画..... 58
地域保健..... 61
地域保健法..... 61
チーム医療..... 1, 58
遅延型皮膚反応..... 56
地球温暖化..... 59
地球環境..... 59
地球環境問題..... 59
治験業務..... 1
地帯現象..... 53
窒素平衡..... 29
腔トリコモナス..... 6

和文索引

腔分泌液..... 5	定義..... 33, 34	電撃の周波数特性..... 64
中央演算処理装置..... 64	定義と概念..... 16	電源回路..... 63
虫垂炎..... 26	定義と分類法..... 42	電子カルテシステム..... 65
中枢神経..... 23	低血圧症..... 10	電子顕微鏡..... 66
中枢神経系..... 35	抵抗<R>・コイル<L>・コンデンサ<C> の基本的性質..... 63	電子顕微鏡標本作製法..... 37
中毒..... 15	抵抗と抵抗率..... 63	電子染色..... 38
虫卵..... 7	デジタル回路..... 63	電子天秤..... 66
中和反応..... 54	デジタル撮影装置..... 66	電磁波障害とその対策..... 64
超薄切切片作製法..... 38	デジタル変調..... 63	電磁波の波長と色の関係..... 27
超音波検査..... 17	ディスク拡散法..... 47	電子メール..... 64
超音波検査の基礎..... 25	ディスクリット方式..... 28	転写..... 8, 46
超音波特性..... 63	低張処理..... 9	伝染性紅斑..... 12
超音波の性質..... 25	データの入出力..... 65	天秤..... 66
超音波プローブ..... 25	データの保存と圧縮..... 65	電離放射線..... 59
聴覚..... 24	デオキシピリジノリン..... 31	電力の概念..... 63
聴覚器..... 35	適応と禁忌..... 21	
聴覚検査..... 26	適合性試験..... 56	と
腸管疾患..... 26	摘出臓器<組織>検体の観察法... 36	糖化アルブミン..... 19
腸管出血性大腸菌感染症..... 12	鉄芽球性貧血..... 42	透過型電子顕微鏡..... 38
長期透析の合併症..... 14	鉄欠乏性貧血..... 13, 42	凍結切片標本作製法..... 36
腸結核..... 11	鉄染色..... 41	凍結組織切片薄切の実際..... 36
聴性脳幹反応検査..... 26	鉄代謝異常..... 15	糖原病..... 15
調節機構..... 28	テトラサイクリン系抗菌薬..... 46	糖質..... 28
調節能..... 40	電圧・電流・抵抗の概念..... 63	糖質代謝異常..... 33
腸チフス..... 12	転移性肺腫瘍..... 11	糖質の検査..... 28
腸閉塞..... 11	展開..... 9	糖質の構造と機能..... 28
聴力検査..... 19	電解質..... 18	糖質の代謝..... 28
直示天秤..... 66	電解質異常..... 21	導出法..... 23
直接・間接ビリルビン..... 30	電解質検査..... 18	糖代謝..... 19
直流回路の性質と用途..... 63	てんかん..... 14, 24	糖代謝異常..... 15
	転帰..... 34	同定キットによる検査..... 51
つ	電気..... 2	同定検査..... 51
	電気泳動装置..... 9, 66	洞停止..... 21
通信装置..... 64	電気泳動の原理..... 27	糖尿病..... 15, 35
通信プロトコル..... 64	電気泳動法..... 27	糖尿病診療ガイドライン..... 16
通性嫌気性グラム陰性桿菌..... 49	電気エネルギーと電力量..... 63	糖尿病性腎症..... 14
痛風..... 15	電気回路の基礎..... 63	等比天秤..... 66
ツツガムシ..... 6	電気化学装置..... 66	洞頻脈・洞徐脈..... 21
ツツガ虫病..... 12	電気化学分析法..... 27	洞不全症候群..... 10, 21
ツベルクリン反応..... 56	電気的安全対策..... 63	動物毒..... 15
	電気的特性..... 63	動物由来感染症..... 47
て	電気・電子工学の基礎..... 63	洞房ブロック..... 21
	電極..... 24	動脈..... 34
手足口病..... 12	電極の配置部位..... 23	動脈管閉存症..... 10
手洗い法..... 48	デング熱..... 13	動脈血液ガス分析..... 16
	電撃に対する人体反応..... 63	

和文索引

- 動脈血ガス分析..... 23
動脈硬化検査..... 22
動脈硬化症..... 10, 34
動脈硬化性疾患予防ガイドライン16
動脈疾患..... 10
東洋毛様線虫..... 6
トータル・ヘルス・プロモーション
..... 60
トガウイルス..... 51
トキソプラズマ..... 6
トキソプラズマ感染症..... 54
トキソプラズマ症..... 12
鍍銀法..... 36
特殊染色..... 41
毒素..... 47
毒素型食中毒..... 48
毒素の検出..... 52
特定化学物質障害予防規則..... 38
特定病原体等..... 48
特発性血小板減少性紫斑病. 13, 44
毒物及び劇物取締法..... 38, 61
毒物・劇物の取り扱い..... 38
毒物・劇物の分析..... 30
土壌汚染..... 59
塗抹検査..... 17, 51
塗抹標本の作製法..... 41
塗抹法..... 38
ドライケミストリ..... 28
トラコーマ..... 12
トランスイルミネータ..... 9
トランスフェリン..... 19, 30
取扱い上の注意と心構え..... 66
取り扱いと安全管理..... 31
トリカブト..... 15
トリグリセライド..... 16, 19, 29
トリグリセライドの代謝..... 29
トリパノソーマ..... 6
努力肺活量..... 22
トレーサビリティ..... 3
トレッドミル負荷試験..... 22
トレランス..... 53
トロポニン..... 16, 31
トロンビン-アンチトロンビン複合
体..... 18
トロンビン-アンチトロンビン複合
体..... 41
トロンボテスト..... 42
食食能..... 56

な
内因..... 10, 33
内径..... 25
内毒素..... 47
内部精度管理..... 3
内分泌機能検査..... 32
内分泌疾患..... 13
内分泌疾患の検査..... 18
内分泌かく乱物質..... 59
内分泌系..... 34
内分泌細胞の染色法..... 37
内膜肥厚..... 25
捺印法..... 38
ナトリウム..... 18, 28
鉛..... 15, 20
軟部組織..... 35

に
肉眼的観察..... 51
肉眼的組織観察法..... 36
二形性真菌..... 50
二次医療..... 61
二次救命処置..... 10
二次止血..... 40
二次性高血圧症..... 10
二次性赤血球増加症・相対的赤血球
増加..... 43
二次性貧血..... 42
二種..... 48
二次予防..... 58
日常検査..... 1
日本海裂頭条虫..... 6
日本・諸外国の医療制度..... 58
日本の医療の特徴..... 58
日本の人口..... 58
入院形態..... 60
乳癌..... 35
乳児死亡..... 60
入出力装置..... 64
乳腺..... 26, 35
乳腺疾患..... 16
乳腺の一般構造と機能..... 35
ニューモシスチス肺炎..... 12
乳幼児健康診査..... 60
入力装置..... 64
ニューロン..... 23
尿..... 2, 51
尿pH..... 4
尿亜硝酸塩..... 4
尿インジカン..... 4
尿ウロビリニン体..... 4
尿化学検査..... 18
尿管・膀胱・尿道..... 35
尿ケトン体..... 4
尿検査..... 4, 17, 18, 20
尿細管機能検査..... 31
尿酸..... 19, 30
尿酸代謝..... 19
尿酸代謝異常..... 15
尿自動分析装置..... 4
尿浸透圧..... 4
尿潜血..... 4, 18
尿素回路..... 29
尿素窒素..... 18, 30
尿蛋白..... 4, 18
尿中有形成分..... 4
尿中有形成分分析装置..... 4
尿沈渣..... 18
尿沈渣検査..... 4
尿糖..... 4, 18, 29
尿道炎..... 14
尿の生成と組成..... 4
尿比重..... 4, 18
尿ビリルビン..... 4
尿崩症..... 13
尿ポルフィリン体..... 4
尿量..... 4
尿路感染症..... 14
二類感染症..... 48
妊産婦..... 60
妊産婦死亡..... 60
認証ID・パスワード..... 64
妊娠・胎児..... 26
妊娠反応..... 4

和文索引

ね

ネクローシス	33
熱画像検査	26
熱中症	59
熱的特性	63
ネットワーク接続機器	64
ネットワーク伝送システム	64
ネットワークの概念	64
ネットワークの構成とシステム	64
ネフェロメトリ	54
ネフローゼ症候群	14
粘液	5
粘液染色	38
年金保険	61
年少人口	58
粘着・放出・凝集	40
粘度	40
年齢調整死亡率	58

の

脳炎	14
脳幹の働き	23
脳血管障害	14
濃厚血小板	57
脳梗塞	14
脳磁図検査	24
脳死判定	24
脳出血	14
脳腫瘍	14
脳循環	21
脳性ナトリウム利尿ペプチド16	31
脳脊髄液	2, 51
脳脊髄液検査	5
能動免疫	54
脳波	19, 23
脳波計	23
脳波検査	23
脳波発現の機序	23
農薬	20
農薬中毒	15
ノーマライゼーションの考え方	58
ノザンプロット法	8
ノミ類	7

は

歯	34
ハードウェア	64
肺	34
バイアス	3
バイアスとエラー	58
バイオセーフティレベル	48
バイオセフティ	48
バイオハザード	38
バイオハザード対策	48
肺拡散能	22
肺拡散能力	22
肺活量	22
肺癌	34
廃棄物	59
肺気量分画	22
肺結核症	10
敗血症	12
肺高血圧症	11
肺疾患	31
肺循環	21
肺循環障害	11
肺真菌症	10
肺性心	10
肺線維化マーカー	17
肺線維症	11, 23
肺塞栓症	11
培地	45
培地の成分	45
培地の分類	45
梅毒	12
梅毒トレポネーマ感染症	54
肺内ガス分布	22
肺胞気一動脈血酸素分圧較差	23
肺胞機能検査	22
培養環境	45
培養検査	17, 51
培養準備	9
胚葉の形成と分化	33
培養法	7, 45
パイログロブリン	55
ハエ類	7
薄切の実際	36
薄切法	36, 38
破碎	43

麻疹	12
橋本病	13
播種性血管内凝固	13, 44
ハチ	15
発育と培養	45
発育に必要な条件	45
発がん物質	59
白血球	40
白血球系疾患の検査結果の評価	43
白血球形態異常	43
白血球検査	18
白血球減少症	43
白血球抗原<HLA>と分類	56
白血球自動分類	41
白血球数	18, 41
白血球増加症	43
白血球反応	4
白血球分画	18
白血病	13
発光の原理と実際	27
発光分析法	27
発色系	28
発生の概要	33
罰則	61
バッチ処理	65
パニック値	16
バニリルマンデル酸	4
パネル血球	56
パピローマウイルス	50
ハプトグロビン	30
パラチフス	12
パラフィン包埋の実際	36
パラミキソウイルス	51
パルスオキシメータ	23
パルス回路	63
パルスドプラ法	25
パルボウイルス	50
パワードプラ	25
バンコマイシン耐性腸球菌	46
反射の機序	23
搬送法	2
半導体の概念	63
半導体の性質と用途	63
反応原性	53
反応価	53
汎用遠心分離機	66

和文索引

ひ

- 脾..... 40
非Hodgkinリンパ腫..... 13, 43
非アルコール性脂肪性肝炎..... 11
非アルコール性脂肪性肝疾患... 11
ピークフロー値..... 22
ピークフローメータ..... 22
非結核性抗酸菌症..... 10
微好気性グラム陰性らせん菌... 49
微好気培養法..... 45
ピコルナウイルス..... 51
比重..... 40
鼻汁..... 5
非常電源設備..... 64
微生物遺伝子検査..... 17
微生物学的検査..... 17
微生物検査結果の評価..... 52
微生物の病原因子..... 47
非接地配線方式..... 64
ヒゼンダニ..... 6
砒素..... 20
脾臓..... 34
脾臓の正常超音波像..... 25
肥大型..... 10
肥大と過形成..... 33
ビタミン..... 31
ビタミンB₁₂欠乏..... 42
ビタミンK依存性凝固因子..... 40
ビタミンK欠乏症..... 13, 44
ビタミン欠乏症..... 15
ビタミン代謝異常..... 15
ビタミンの欠乏症..... 31
ビタミンの作用と分類..... 31
ビタミンの種類と性質..... 31
左心不全..... 10
非蛋白性窒素..... 30
非蛋白性窒素成分の検査..... 30
非蛋白性窒素成分の代謝..... 30
非電離放射線..... 59
非特異反応..... 53
ヒト絨毛性ゴナドトロピン..... 4
ヒトの染色体地図..... 9
菲薄..... 43
皮膚..... 35
皮膚及び付属器..... 35
皮膚および付属器の一般構造と機能..... 35
皮膚糸状菌..... 50
皮膚疾患..... 16
皮膚線維芽細胞培養..... 9
皮膚反応..... 19, 55
ピペット..... 66
ヒポクラテスの誓い..... 58
飛沫感染..... 47
飛沫予防策..... 48
病因..... 33
病院感染..... 48
病院感染サーベイランス..... 52
病院感染症..... 47
病院電気設備の安全基準..... 64
病院と診療所..... 58
病院の組織..... 1
病害と症状..... 6
評価法..... 22, 23
病気の原因..... 10
病気の症状..... 10
非溶血性副作用..... 57
表現型と遺伝型..... 8
病原体遺伝子検査..... 8
病原体の危険度分類..... 48
表示器..... 63
標識抗原..... 54
標準化..... 3
標準採血法..... 2
標準作業手順書..... 1
標準物質..... 3
標準予防策..... 2, 48
病態識別値と診療ガイドライン... 16
標的..... 43
標本作製法..... 4, 9
標本・報告書の保守管理..... 39
病理解剖..... 38
病理解剖<剖検>の手順..... 38
病理学総論..... 33
病理業務の管理..... 38
病理組織染色法..... 36
病理組織標本作製法..... 36
日和見感染症..... 47
比率法..... 51
微量アルブミン..... 4, 18
微量液体希釈法..... 47
微量ピペット..... 66
ビリルビン..... 17
ピルビン酸・乳酸..... 29
貧血..... 13, 42

ふ

- ファーマコゲノミクス..... 8
フィブリノゲン..... 18, 42
フィブリノゲン/フィブリン分解産物..... 42
フィブリン血栓..... 40
フィルタ回路..... 63
フィロウイルス..... 51
風疹..... 12
風疹ウイルス感染症..... 54
封入..... 36
封入体..... 43
フェニルケトン体尿..... 4
フェニルケトン尿症..... 15
フェリチン..... 30
付加価値情報..... 16
不活化酵素..... 46
不活性化..... 53, 55
負帰還増幅..... 63
不規則抗体スクリーニング..... 56
フグ..... 15
副甲状腺..... 35
副甲状腺機能検査..... 18, 32
副甲状腺機能亢進症..... 13
副甲状腺機能低下症..... 13
副甲状腺疾患..... 13
副甲状腺ホルモン..... 31
副腎..... 35
副腎疾患..... 13
副腎髄質機能検査..... 18, 32
副腎髄質ホルモン..... 31
副腎性器症候群..... 14
副腎皮質機能亢進症..... 14
副腎皮質機能低下症..... 14
副腎皮質機能検査..... 18, 32
副腎皮質ホルモン..... 31
複製..... 8, 46
腹部超音波..... 25
腹膜..... 34
不顕性感染..... 47
浮腫..... 33

和文索引

- 婦人科疾患..... 26
不整脈..... 10
不確かさ..... 2
普通染色..... 41
物質代謝異常..... 33
物質の運搬..... 40
物質の代謝..... 27
物品管理..... 1
物理環境..... 59
物理的消毒法..... 46
物理量センサ・トランスデューサ63
ブドウ球菌感染症..... 12
ブニヤウイルス..... 51
不分極電極..... 63
ブラーク..... 25
プライバシーに関する理解..... 65
プライマリーヘルスケア..... 61
フラグメントの生理活性..... 53
プラズマ滅菌装置..... 66
プラスミノゲン..... 42
プラスミノゲンアクチベーターインヒビター..... 42
プラスミンインヒビター..... 42
プラスミン-プラスミンインヒビター複合体..... 41
フラビウイルス..... 51
孵卵器..... 66
プリオン..... 51
プリオンの不活化法..... 46
ブリッジ回路..... 63
ブルガダ症候群..... 21
フローサイトメータ..... 55
フローサイトメトリ..... 54
フローサイトメトリ法..... 41
フローチャート..... 64
フローボリューム曲線..... 22
プロカルシトニン..... 31
プログラム言語..... 64
プロゾーン現象..... 53
プロッティング装置..... 8
プロテインC..... 42
プロテインC(PC)欠損症..... 44
プロテインS..... 42
プロテインS(PS)欠損症..... 44
プロトンビン時間..... 18, 42
プロトンビンフラグメントF1+2..... 41
プロトン密度強調画像..... 26
プロメリン法..... 56
分化..... 53
分光光度計..... 66
分光光度計の原理と構成..... 27
分散処理..... 64
分子標的治療..... 1
分子マーカー..... 41
粉じん..... 59
分析疫学..... 59
分析用超遠心分離機..... 66
糞線虫..... 6
分染法..... 9
分泌液..... 2
分泌型と非分泌型..... 56
糞便..... 2, 7, 51
糞便検査..... 5, 17
糞便検査法..... 5
分離培地..... 45
分離培養..... 51
分離培養法..... 45
分離分析装置..... 66
分類..... 45, 55
分類と命名法..... 9
- へ
- ヘアリー細胞白血病..... 43
平滑..... 63
平均余命と平均寿命..... 58
平衡器..... 35
平衡機能検査..... 19, 26
閉塞型と中枢型の区別..... 23
閉塞性肺疾患..... 11
壁厚と心機能..... 25
僻地医療..... 61
ベッドサイド検査..... 21
ペニシリナーゼ産生リン菌..... 46
ペニシリン結合タンパク..... 46
ペニシリン耐性肺炎球菌..... 46
へパドナウイルス..... 51
へパリン起因性血小板減少症..... 44
へビ..... 15
へマトクリット値..... 18, 41
へマトクリット用遠心分離機..... 66
へム..... 30
へムの合成..... 30
ヘモグロビン..... 18
ヘモグロビンA1c..... 19, 29
ヘモグロビン尿..... 4
ヘモグロビン濃度..... 41
ヘモクロマトーシス..... 15
ヘリコバクター・ピロリ感染症..... 12
ペルオキシダーゼ染色..... 41
ヘルシンキ宣言..... 58
ヘルスプロモーション..... 61
ヘルペスウイルス..... 50
ヘルペス感染症..... 12
変異..... 46
変異と後天性変化..... 56
変異と多型..... 8
変形..... 43
偏光顕微鏡..... 37, 66
変性..... 33
変性・脱髄疾患..... 14
便潜血反応..... 5
鞭虫..... 6
変調と復調..... 63
変調復調の概念..... 63
ペントースリン酸回路..... 28
弁膜症..... 25
鞭毛染色法..... 45
- ほ
- ポアフィルター法..... 38
ポイント・オブ・ケア・テストイング..... 28
剖検..... 38
剖検材料..... 36
剖検室管理..... 38
膀胱炎..... 14
膀胱腫瘍..... 14, 35
報告書..... 16
報告の種類と方法..... 2
防止対策..... 48
房室ブロック..... 21
放射性同位元素..... 2
放射性物質を用いた検査..... 31
放射線特性..... 63
放射線滅菌..... 46
放射能・放射線の性質..... 31

和文索引

- 放射能・放射線の測定..... 31
放射免疫測定法..... 27
放線菌症..... 12
傍側<側副>循環..... 33
方法..... 57
包埋法..... 36, 37
墨汁法..... 45
保健衛生法規..... 61
保健師助産師看護師法..... 61
保健所の役割..... 61
保護液..... 57
母児の血液型..... 57
母児不適合妊娠..... 57
母子保健..... 60
母子保健の指標..... 60
母子保健法..... 61
補助記憶装置..... 64
ホスホマイシン..... 47
保存..... 9
保存法..... 2, 53
保存用培地..... 45
補体..... 53
補体系検査..... 56
補体結合反応..... 54
補体欠損症..... 54
母体血の間接抗グロブリン試験..... 57
補体検査用..... 55
補体成分の定量..... 56
ボックスウイルス..... 50
発作性夜間ヘモグロビン尿症... 42
骨..... 35
骨形成マーカー..... 19
ホモジニアス法とヘテロジニアス法
..... 27
ポリオーマウイルス..... 50
ポリクローナル抗体とモノクローナ
ル抗体..... 53
ポリペプチド系抗菌薬..... 46
ポルフィリン..... 19
ポルフィリン症..... 15
ポルフィリン体..... 30
ホルマリンの取り扱い..... 38
ホルモン..... 31
ホルモン検査と臨床的意義..... 31
ホルモンの作用と調節機序..... 31
ホルモンの種類と性質..... 31
保冷装置..... 66
本態性血小板血症..... 13, 43
本態性高血圧症..... 10
翻訳..... 8
ま
マイクロサテライト解析..... 8
マイコプラズマ..... 45, 50
マイコプラズマ感染症..... 54
マイコプラズマ肺炎..... 10
前処置..... 25
前処理..... 51
膜傷害複合体..... 53
膜電位..... 23
マグネシウム..... 28
マクロショックとマイクロショック 64
マクロファージ遊走阻止試験... 55
マクロライド系抗菌薬..... 46
マスキリング検査..... 20
末梢血幹細胞移植..... 57
末梢血血液像..... 41
末梢神経..... 23
末梢神経系..... 35
末梢リンパ球培養..... 9
マニュアル..... 1
麻薬及び向精神薬取締法..... 61
マラリア..... 12, 61
マラリア原虫..... 6, 7
慢性炎症性疾患..... 42
慢性肝炎..... 11
慢性甲状腺炎..... 13
慢性呼吸不全..... 23
慢性骨髄性白血病..... 13, 43
慢性骨髄単球性白血病..... 43
慢性糸球体腎炎..... 14
慢性腎不全..... 14
慢性肉芽腫症..... 15
慢性閉塞性肺疾患..... 11, 23
慢性リンパ性白血病..... 13, 43
慢性リンパ性白血病および類縁疾患
..... 43
み
ミオグロビン..... 16, 19
ミオグロビン尿..... 4
ミオトニー放電..... 24
ミキサ..... 66
右心不全..... 10
ミクロトームの種類..... 36
マイクロヘマトクリット..... 41
水・電解質代謝..... 19
水と無機質の調整および代謝... 28
ミトコンドリアDNA..... 8
脈管疾患..... 10
脈管疾患検査..... 22
脈波伝播速度..... 22
宮崎肺吸虫..... 6
ミラーイメージ..... 25
む
無 γ -グロブリン血症..... 15
無機質..... 28
無機質の検査..... 28
無機物代謝異常..... 33
無菌操作技術..... 51
無菌操作の基本技術..... 51
無形成分..... 40
無鉤糸虫..... 6
無線通信装置..... 64
ムンプス..... 12
め
明視野..... 37
命名と分類..... 30
メスシリンダ..... 66
メスフラスコ..... 66
メタボリックシンドローム..... 15
メタロー β -ラクタマーゼ<MBL>産生
菌..... 46
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌... 46
滅菌・消毒の技術..... 51
滅菌装置..... 66
滅菌と消毒..... 46
滅菌法..... 46
メラニン尿..... 4
免疫異常..... 34
免疫化学染色法..... 41

和文索引

免疫学的機序が関与する肺疾患 . 11
免疫学的血小板数算定 41
免疫学的検査 17, 19
免疫学的検査法 7, 52
免疫学的な抗原・抗体の検出 . . . 52
免疫学的分析法 27
免疫寛容 53
免疫器具・機器の取扱い 55
免疫機能検査 19, 55
免疫凝集反応 54
免疫グロブリン 17, 29, 53
免疫グロブリンの定量 55
免疫グロブリンの分離 55
免疫系による生体防御 53
免疫系の特徴 53
免疫検査の基礎知識と技術 55
免疫原性 53
免疫細胞化学染色 38
免疫組織化学染色法 37
免疫担当器官 53
免疫沈降反応 54
免疫電気泳動・免疫固定法による解
析 55
免疫と疾患の関わり 54
免疫の成立と調節 53
免疫反応とアレルギー 34
免疫比濁法と比ろう法 27
免疫比濁法・免疫比ろう法 54
免疫不全 15, 34, 54
免疫溶解反応 54
免疫抑制 57
免許 61

も

毛細血管血 2
毛細血管抵抗試験 42
毛細血管透過性 40
網赤血球数 41
目的 16, 36, 37, 38
目的と原理 36
モデム 63
求め方 16
モノクローナル抗体作製技術 . . . 55
モル吸光係数 27
漏れ電流測定法 64

門脈系の正常超音波像 25

や

薬剤感受性検査 17, 51
薬剤感受性検査装置 52
薬剤耐性菌 46
薬事法 61
薬事法規 61
薬品 2
薬物依存 60
薬物・毒物 30
薬物・毒物・代謝産物 4
薬物モニタリング 30
役割 30, 53

ゆ

有害ガス 59
有害物中毒 15
有機物質 59
有機リン剤 20
有形成分 40
有効期間 57
有鉤条虫 6
有棘 43
有線通信装置 64
遊走能 56
有訴者率 58
誘導法 21, 22
有毒物中毒の検査 19
尤度比 16
誘発筋電図 19, 24
誘発電位 24
有病率 16
遊離脂肪酸 29
輸血管理 56
輸血関連急性肺障害 57
輸血血液の保存と管理 57
輸血検査 56
輸血検査の精度管理 56
輸血後感染症 57
輸血の基礎知識 56
輸血の適応決定 56
輸血副作用・合併症 57

輸血前検査 56
輸血後GVHD 57
輸送用培地 45
輸入感染症 12, 47
輸入食品 60

よ

溶血性貧血 42
溶血性尿毒症症候群 44
溶血性貧血 13
溶血性副作用 57
溶血性連鎖球菌感染症 54
溶血に関する検査 18
溶血の検査 41
葉酸欠乏 42
幼児死亡 60
陽子とスピン 26
用手法 41
用手法と検査機器 66
羊水 5, 20
羊水細胞培養 9
陽性適的>中率 16
幼虫移行症 6
幼虫・成虫体 7
抑制反応 54
横川吸虫 6
予後の検査 1
余色と補色 27
予防医学 16
予防衛生法規 62
予防接種 59
予防接種法 62
四種 48
四類感染症 48

ら

ラクトフェノールコットン青染色法
. 45
ラテックス凝集反応 27
ラテックス凝集免疫比濁法・ラテッ
クス凝集ネフェロメトリ 54
卵巣疾患 14
卵巣腫瘍 14, 35

和文索引

ランダム化比較対照試験 59

り

リアルタイム処理 65
リーシュマニア 6
リウマチ熱 15
リウマトイド因子 17, 55
罹患率と有病率 59
力学的特性 63
リケッチア 45, 50
リケッチア感染症 12, 54
離婚 58
リスクとリスクファクター 58
リスク評価とリスク管理 60
リスクファクター 60
立体解剖 33
リパーゼ 17, 30
リポ蛋白 16, 29
リポ蛋白の代謝 29
リポペプチド系抗菌薬 47
流行性角結膜炎 12
流行性耳下腺炎 12
量反応関係 60
リン 18, 28
リンコマイシン系抗菌薬 47
リン脂質 29
リン脂質・糖脂質・プロスタグラン
 ディン 29
淋疾 12
臨床医学 16
臨床検査技師等に関する法律 ... 61
臨床検査室の評価 1
臨床検査情報室 1

臨床検査性能評価 16
臨床検査と生体物性 63
臨床検査の意義 1
臨床検査の業務範囲 21
臨床工学技士法 61
臨床生理検査の特色 21
臨床的意義21, 22, 23, 24, 25, 26
リンパ管 34
リンパ管系 21
リンパ管疾患 10
リンパ球減少症 43
リンパ球細胞株の樹立 9
リンパ球サブセットの解析 55
リンパ球増加症 43
リンパ球の異常 43
リンパ球幼若化試験 55
リンパ節 26, 34
リンパ組織 40
倫理 8

る

涙滴 43
類白血病反応 43
ループスアンチコアグラント ... 42

れ

励起波長と蛍光波長 27
冷蔵庫 66
冷凍庫 66
レオウイルス 51
レクチン凝集法 56

レジオネラ症 12
レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原検査
 52
レシチンコレステロールアシルトラ
 ンスフェラーゼ 29
レトロウイルス 51
レトロウイルス感染症 54
レプトスピラ 50
レンサ球菌感染症 12
連鎖形成 43
連続波ドプラ法 25

ろ

労災保険 61
老人福祉 61
老人保健 60
労働安全衛生法 38, 62
労働衛生管理 2, 60
労働衛生行政 60
労働衛生法規 62
労働基準法 62
労働災害と業務上疾病 60
労働者災害補償保険法 62
老年人口 58
ろ過滅菌 46
論理回路の基礎 63

わ

ワクチン 48